

ポータブルガスモニター
GX-3R
取扱説明書
(PT0-164)

理研計器株式会社

〒174-8744 東京都板橋区小豆沢 2-7-6

ホームページ <http://www.rikenkeiki.co.jp/>

目次

1	製品のアウトライン	4
1-1	はじめに	4
1-2	使用目的	4
1-3	危険、警告、注意、注記の定義	6
1-4	規格および防爆仕様の確認方法	6
2	安全上、大切なお知らせ	7
2-1	TIIS 仕様に関する大切なお知らせ	7
2-2	警告事項	8
2-3	注意事項	9
2-4	ATEX/IECEX 仕様に関するセーフティーインフォメーション	11
3	製品の構成	12
3-1	本体および標準付属品	12
	本体	12
	標準付属品	13
3-2	各部の名称と働き	14
	本体	14
	LCD 表示部	15
4	警報動作	16
4-1	ガス警報動作	16
4-2	故障警報動作	18
5	使用方法	19
5-1	ご使用にあたって	19
5-2	始動準備	19
5-2-1	リチウムイオン電池の充電	19
5-3	始動方法	21
	電源を入れる	21
	電源投入から測定画面までの遷移	22
5-4	エア校正	25
	エア校正手順	25
5-5	検知する	26
5-5-1	基本動作フロー	26
5-5-2	測定モード	27
5-6	電源を切る	29
6	設定方法	30
6-1	ディスプレイモード	30
6-1-1	ディスプレイモードを表示する	30
6-1-2	ディスプレイモードの表示内容	30
6-2	ディスプレイモードの設定	32
6-2-1	PEAK 値表示のクリア	32
6-2-2	可燃性読替ガスの選択	33
6-2-3	ロングライフバッテリーの設定	35
6-2-4	校正記録の表示	36
6-2-5	バンプ記録の表示	36
6-2-5	警報設定値の表示	38
6-3	ユーザーモード	39
6-3-1	ユーザーモードを表示する	39
6-3-2	ユーザーモードの設定項目	40
6-4	ユーザーモードの設定	42
6-4-1	バンプテスト	42
6-4-2	ガス校正	42
6-4-3	校正期限設定	42
6-4-4	バンプテストの設定	45
6-4-5	警報点設定	50

6-4-6. ランチブレークの ON/OFF	52
6-4-7. コンファメーションビープ設定	52
6-4-8. LCD 点灯時間設定	54
6-4-9. キー操作音の ON/OFF	55
6-4-10. ディスプレイモード項目表示の ON/OFF	55
6-4-11. 日時設定	56
6-4-12. ユーザーパスワード設定	56
6-4-13. ROM/SUM 表示	57
7 保守点検	58
7-1. 点検の頻度と点検項目	58
メンテナンスサービスについて	59
7-2. ガス校正	60
7-2-1. ガス校正の準備	60
7-2-2. ガス校正の設定メニュー	61
7-2-3. エア校正	63
7-2-4. AUTO 校正	64
7-2-5. AUTO 校正のシリンダー設定	66
7-2-6. AUTO 校正の校正ガス濃度選択	67
7-3. バンプテスト(BUMP TEST)	68
7-4. 清掃方法	69
7-5. 各部品の交換	70
7-5-1. 定期交換部品	70
7-5-2. フィルタの交換	71
8 保管および廃棄について	74
8-1. 保管または長期間使用しない場合の処置	74
8-2. 再度使用する場合の処置	74
8-3. 製品の廃棄	75
9 トラブルシューティング	76
9-1. 機器の異常	76
9-2. 指示値の異常	78
10 製品仕様	79
10-1. 仕様一覧	79
10-2. 付属品一覧	80
11 付録	82
データログ機能	82
100%LEL=ppm 換算表	84

1

製品のアウトライン

1-1. はじめに

この度は、ポータブルガスモニターGX-3R(以降「本器」)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。まず、お買い求めの製品型番と本取扱説明書が対象とする製品型番が一致することをご確認ください。

本器は、十分に訓練された、適切な方のみご使用ください。

本取扱説明書に記載された保守・点検については、訓練された、適切な方のみ行ってください。本取扱説明書に記載されていない保守・点検については、弊社または弊社指定のサービス員にて行う必要がありますので、弊社までご用命ください。

この取扱説明書は、本器を正しくご使用いただくための取扱方法と仕様が記載されています。本器を初めてご使用になる方、および既にご使用経験のある方も本書をよくお読みいただき、内容を理解した上で実際にご使用ください。

本取扱説明書は、将来参照できるようにするために、大切に保管してください。

なお、製品改良のために、この説明書の内容を将来予告なしに変更することがあります。また、この説明書の全部または一部を無断で複写または転載することを禁じます。

本取扱説明書の他に、本製品の別売品(オプション)用の取扱説明書があります。以下の別売品(オプション)を使用する場合には、各取扱説明書についても本取扱説明書と合わせて参照してください。

- 1) ポンプユニット RP-3R 用取扱説明書(PT0-166)
- 2) データログマネージメントプログラムソフト SW-GX-3R 用取扱説明書(PT0-178)
- 3) ドッキングステーション SDM-3R 用取扱説明書 (PT0-167)

保証期間の内外を問わず本器をご使用することによって生じたいかなる事故および損害の補償はいたしません。保証書に記載される保証規定を必ずご確認ください。

1-2. 使用目的

本器は、最大3種類のセンサで4種類のガスを1台で検知できるマルチガスモニターです。

本器には検知対象ガスの組合せにより数種類のタイプ(TYPE)があります。ご使用前に仕様を再度ご確認ください、目的に応じた正しいガス検知を行ってください。

作業場の環境空気中の化学物質濃度を測定するためのガス検知器です。暴露されている有害ガス・可燃性ガス・酸素について濃度を測定し、設定した警報濃度に達したときに警報を発報し、ガス中毒や酸欠への危険を知らせます。

<TYPE 別検知対象ガス(搭載センサ型式)一覧>

TYPE 名	検知対象ガス(搭載センサ型式)					
	可燃性ガス <HC または CH ₄ > (NCR-6309)	酸素 (ESR-X13P)	一酸化炭素/ 硫化水素 (ESR-A1DP)	硫化水素 (ESR-A13i)	一酸化炭素 (ESR-A13P)	一酸化炭素 (ESR-A1CP) ※
TYPE A	○	○	○			
TYPE B	○	○		○		
TYPE C	○	○			○	
TYPE CH	○	○				○
TYPE D	○	○				
TYPE E		○		○		
TYPE F		○			○	
TYPE FH		○				○
TYPE G	○					
TYPE I	○				○	
TYPE IH	○					○
TYPE K				○		

※ 一酸化炭素センサ(ESR-A1CP)は水素による干渉を低減する補正機能を備えたセンサです。この機能は最大 2000ppm の水素に対して機能します。

1-3. 危険、警告、注意、注記の定義

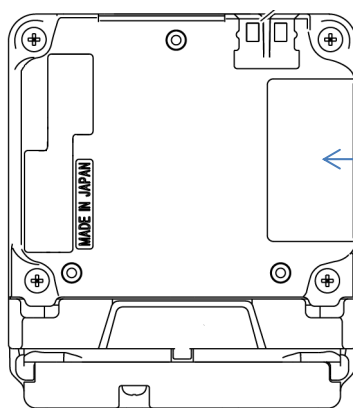
本取扱説明書では、安全かつ効果的な作業が行えるように、次の見出しを使用しています。

 危険	取り扱いを誤った場合、「人命、人体または物に重大な被害を及ぼすことが想定される」ということを意味します。
 警告	取り扱いを誤った場合、「身体または物に重大な被害を及ぼすことが想定される」ということを意味します。
 注意	取り扱いを誤った場合、「身体または物に軽微な被害を及ぼすことが想定される」ということを意味します。
注記	取り扱い上のアドバイスを意味します。

1-4. 規格および防爆仕様の確認方法

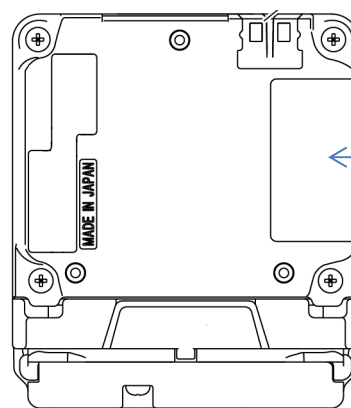
本器は、規格や防爆検定の種類によって仕様が異なります。ご使用になる前に、お手元にある製品の仕様を確認してください。また、CE マーキング仕様をご使用になる場合は、付録の自己宣言書 (Declaration of Conformity) を参照してください。

製品の仕様は、製品に貼付された銘板より確認してください。



型式検定合格標章

TIIS 仕様の銘板例



Ex マーク
CE マーク

ATEX / IECEx 仕様の銘板例

2

安全上、大切なお知らせ

本器の性能を維持し、安全にお使いいただくため、以下の危険、警告、注意事項を守ってください。

2-1. TIIS 仕様に関する大切なお知らせ



危険

防爆に関して

- 回路・構造などの改造または変更は、行わないでください。
- 酸素濃度の測定では、空気と可燃性ガスまたは毒性ガスの混合物以外の測定をしないでください。
- 本器を携帯して危険な場所で使用する場合は、静電気の帯電による危険防止総合対策として、

- ① 使用する衣服は帯電防止作業服、履物は導電性履物(帯電防止作業靴)を使用する
- ② 屋内では、導電性作業床(漏洩抵抗 10MΩ以下)の環境で使用するとしてください。

- 定格は以下の通りです。

電源 電池パック(BP-3R) :DC3.7V 200mA

充電端子 許容電圧 :DC6.3V (SELV 電源に限る)

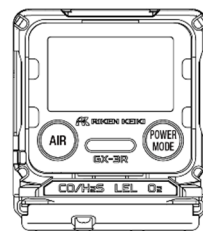
周囲温度 : -40℃～+60℃

(周囲温度とは防爆性能を維持できる温度範囲であり、製品性能を満足する使用温度範囲ではありません。使用温度範囲については「10-1. 仕様一覧」を参照してください。)

- 防爆等級は Exia II CT4 Ga です。
- 準拠する防爆指針は以下の通りです。
工場電気設備防爆指針(国際整合技術指針)
JNIOSH-TR-46-1 および 6:2015

ご使用において

- マンホールの中や密閉された場所を測定する場合、絶対にマンホールの入り口に身を乗りだしたり、中をのぞき込んだりしないでください。酸素欠乏空気、その他のガスが吹き出す可能性があります危険です。



本体



警告

- 万一、本器に異常が見つかった場合は、速やかに販売店または最寄りの弊社営業所までご連絡ください。最寄りの営業所につきましては、弊社ホームページよりご確認ください。
ホームページ <http://www.rikenkeiki.co.jp/>

2-2. 警告事項



警告

センサの取り扱い

- 本器内の定電位電解式センサは絶対に分解しないでください。内部の電解液が皮膚に触れると、皮膚がただれる恐れがあります。また目に入ると失明する恐れがあります。衣服に付着した場合には、変色したり、穴が開いたりする恐れがあります。万一、電解液に触れた場合は、触れた部分を直ちに水で十分洗浄してください。酸素センサの校正および調整時は、窒素以外のバランスガスを使用しないでください。

周辺空気でのエア調整

- エア調整を周辺空気で行う場合は、周辺が新鮮な大気であることを確認してから行ってください。雑ガスや干渉ガスなどが存在する状態で行うと、正しい調整が行えず、実際にガスが漏洩した場合、正しく検知できず危険です。

ガス警報が出たときの対応

- ガス警報を発した場合は大変危険です。お客様の判断により安全を確保した上で適切な処置を行ってください。

電池残量の確認

- ご使用前に電池残量を確認してください。初めて使用する前および長期間使用しなかった場合は、電池が消耗していることが考えられます。充電してからご使用ください。
- 電池電圧低下警報が発せられると、ガス検知を行えなくなります。使用中に発報した場合は、電源を切り、安全な場所で速やかに充電してください。

その他

- 雨などの水によってセンサ部がおおわれると、ガスを検知できなくなります。このため、降雨に晒された状態で使用したり、水中に沈めたりすることはおやめください。
- 装着の際、必ず本器が大気に接触するように装着してください。ふさがれた状態の場合、正しい測定ができなくなり、事故につながる恐れがあります。
- 火中に投げ入れないでください。
- 洗濯機や超音波洗浄機などで本器を洗わないでください。
- ブザー放音口をふさがないでください。警報音が出なくなります。

2-3. 注意事項



注意

- 油・薬品などがかかるような場所では使用しないでください。
 - ・ 本器に油・薬品など液体がかかるような場所は避けて使用してください。
 - ・ 本器を水や泥の溜まるような場所に置かないでください。このような場所に置くとブザー放音口などから水や泥が入り故障の原因となることがあります。
- 使用温度範囲を超える場所では使用しないでください。
 - ・ 本器の使用温度範囲は下記の通りです。使用範囲を超えた高温、低温環境下でのご使用は避けてください。
＜連続的環境＞ -20～+50℃
＜一時的環境＞ -40～+60℃
 - ・ 直射日光が当たる場所での長時間にわたる使用は極力避けてください。
 - ・ 炎天下駐車の内車での保管は避けてください。
- 本器内に結露が発生しないよう使用湿度範囲を守ってください。
本器中に結露が発生すると、詰まったり、ガスが吸着したりするなど正確なガス検知を行えなくなりますので、結露の発生は厳禁となります。本器の使用環境と併せて、サンプリング先の温度・湿度には十分注意し、本器中に結露が発生しないようにしてください。
- 本器の近くでは、トランシーバーを使用しないでください。
 - ・ 本器の近くでトランシーバーなどによる電波が出力する機器があると、指示に影響する場合があります。トランシーバーなどを使用する場合には、本器から離れ、影響の出ないところで使用してください。
 - ・ 強い電磁波の発生する機器（高周波機器・高電圧機器）の近くでの使用は避けてください。
- 動作状態表示が点滅動作していることを確認して使用してください。
動作状態表示が点滅していない場合は、正しいガス検知ができません。

センサに関して

- ・ シリコン化合物、ハロゲン化合物、高濃度の硫化物、高濃度の溶剤ガスなどが存在する環境にて可燃性ガスセンサを使用した場合、センサの寿命が短くなったり、センサの可燃性ガスに対する感度が低下し、正確な指示を得られなかったりする恐れがありますので、注意してください。やむを得ず使用する場合は使用時間を極力短くし、使用後は新鮮な大気中に放置し、指示が戻ったことを確認し、指示がふらつくなどの異常がないことを確認してください。
- ・ 本器の可燃性ガスセンサ＜%LEL＞が正確なガス検知および濃度表示をするには、ある一定以上の酸素濃度が必要です。
- ・ 本器に急激な圧力変化を与えないでください。酸素の指示値が一時的に変化して正確な測定ができません。
- ・ 酸素センサの校正および調整時は、窒素以外のバランスガスを使用しないでください。酸素の指示誤差が大きくなり、正確な測定ができません。



注意

- 定期的な点検を必ず行ってください。
本器は安全確保のために定期的な点検を必ず行って使用してください。点検を行わずに使用を続けるとセンサの感度に変化し、正確なガス検知を行えません。
- その他
 - ・ むやみにボタンを押すと、各設定が変更されてしまい、警報が正常に作動しないことがあります。本取扱説明書に記載されている以外の操作は行わないでください。
 - ・ 落下させたり、衝撃を与えたりしないでください。防爆性能、防水・防じん性能、ガス検知性能の低下を招くことがあります。
 - ・ 本器を充電しながら使用しないでください。
- ブザーの放音口やセンサの開口部を、先の尖ったもので突かないでください。水や異物などが浸入して、故障や破損の原因となります。
- ブザー放音口をテープなどでふさがないでください。機器の内圧の調整ができなくなり、故障の原因となる可能性があります。
- LCD 表示部のパネルシートを剥がさないでください。防水・防塵性能が損なわれます。
- 赤外線通信ポート部にラベルなどを貼り付けしないでください。赤外線通信ができなくなります。
- 使用に関して
 - ・ 低温度の環境では、電池の性能上、使用時間が短くなります。
 - ・ 低温時は LCD 表示の応答が遅くなる場合があります。
 - ・ エア校正は、使用環境に近い状態の圧力、温湿度条件下かつ新鮮な大気中で行ってください。
 - ・ エア校正は指示が安定してから行ってください。
 - ・ 保管場所と使用場所の温度が 15℃以上急変するような場合、電源を入れた状態で使用場所と同様の環境下にて 10 分程度馴染ませ、新鮮な大気中でエア校正を実施してから使用してください。
 - ・ 本器の汚れを拭き取る際、水をかけたり、アルコールやベンジンなどの有機溶剤を用いたりしないでください。本器表面が変色したり、損傷したりする可能性があります。
 - ・ 長期保管後、再度使用する場合は必ずガス校正を行ってください。ガス校正を含めて、再調整は弊社営業所までご連絡ください。

2-4. ATEX/IECEX 仕様に関するセーフティーインフォメーション

GX-3R は最大 3 種類のセンサで 4 種類のカスを検知することができます。
本器の充電は、危険な場所では行わないでください。

防爆仕様



- ・Ex ia IIC T4 Ga
- ・II1G Ex da ia IIC T4 Ga

- ・周囲温度範囲 : -40°C~+60°C
- ・周囲温度範囲(充電時) : 0°C~+40°C

電氣的仕様

認証番号

- ・IECEX : IECEX DEK 17.0050X
- ・ATEX : DEKRA 17 ATEX 0103X

適用規格

- | | |
|--------------------|------------------|
| ・IEC 60079-0:2011 | ・EN60079-0:2012 |
| ・IEC 60079-11:2011 | ・EN60079-11:2012 |
| ・IEC 60079-26:2006 | ・EN60079-26:2007 |

注意事項

- ・本器を危険な場所で充電しないでください。
- ・本器は専用充電器で充電してください。
- ・機器を分解または改造しないでください。

INST. No. 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0

A B C D E

- A: 製造年 (0-9)
- B: 製造月 (1-9 月、X<10 月>、Y<11 月>、Z<12 月>)
- C: 製造ロット
- D: シリアルナンバー
- E: 工場コード



RIKEN KEIKI Co., Ltd.

2-7-6 Azusawa, Itabashi-ku, Tokyo, 174-8744, Japan

Phone : +81-3-3966-1113
Fax : +81-3-3558-9110
E-mail : intdept@rikenkeiki.co.jp
Web site : <http://www.rikenkeiki.co.jp>

3

製品の構成

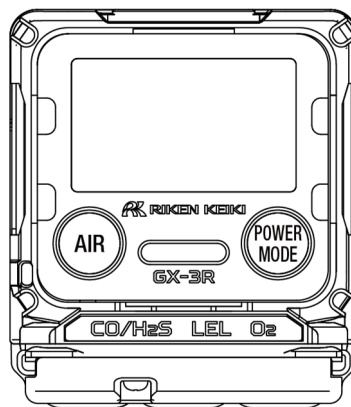
3-1. 本体および標準付属品

梱包箱を開けて、本器と付属品を確認してください。

万一、足りないものがありましたら、販売店または最寄りの弊社営業所までご連絡ください。

本体

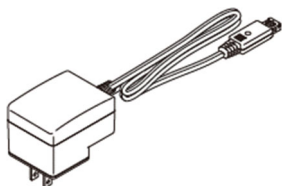
本器の各部の名称と働きおよび LCD 表示については、「3-2. 各部の名称と働き」(P.14)を参照してください。



GX-3R 本体

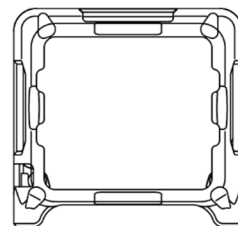
標準付属品

AC アダプタ
1 個



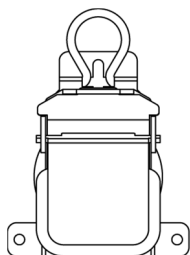
プロテクトカバー
1 個

何かにぶつけたとき
や落下などの衝撃か
ら、本器を保護しま
す。



アリゲータークリップ
1 個

本器をポケット上部に取り
付けられます。
ATEX / IECEx 仕様

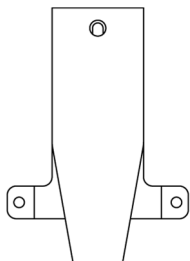


ハンドストラップ
1 本



ベルトクリップ
1 個

本器をベルトにかけられま
す。
※TIIS 仕様



製品保証書

センサ保証書

取扱説明書



危険

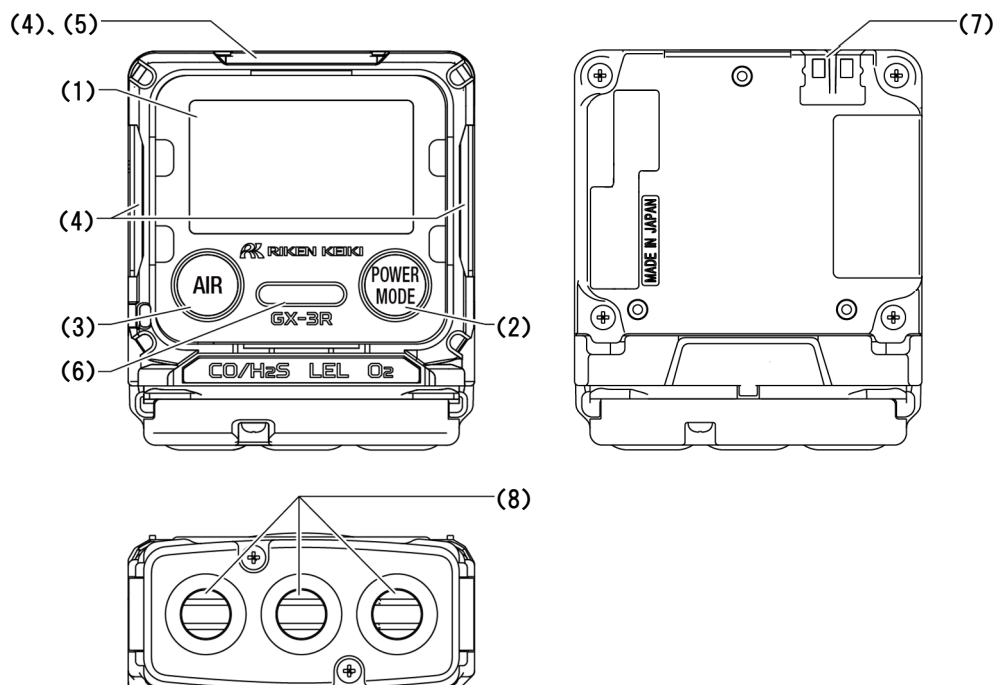
防爆に関して

- 回路・構造などの改造または変更は、行わないでください。
- 酸素濃度の測定では、空気と可燃性ガスまたは蒸気と毒性ガスの混合物以外の測定をしないでください。
- 本器を携帯して危険な場所で使用する場合は、静電気の帯電による危険防止総合対策として、
 - ① 使用する衣服は帯電防止作業服、履物は導電性履物(帯電防止作業靴)を使用する
 - ② 屋内では、導電性作業床(漏洩抵抗 10MΩ以下)の環境で使用する
としてください。

3-2. 各部の名称と働き

本体各部の名称と働きおよび LCD 表示について記載しています。

本体



名称	主な機能
(1) LCD 表示部	ガスの種類やガス濃度などを表示します。
(2) POWER/MODE ボタン	電源を入/切します。または設定モードなどにおいて確定操作を行うためのボタンです。
(3) AIR ボタン	測定モードでは、エア校正を行います。または設定モードなどにおいて選択操作を行うためのボタンです。
(4) 警報窓	警報時に、ランプが赤く点滅します。
(5) 赤外線通信ポート	データログマネジメントプログラム使用時に、パソコンとデータ通信を行います。
(6) ブザー放音口	操作音や警報音を放出する口です。(ふさがないでください。)
(7) 充電用接点	充電器(EPU15-102-L6)との接点です。
(8) センサ部	各ガスを検知するためのセンサが搭載されています。



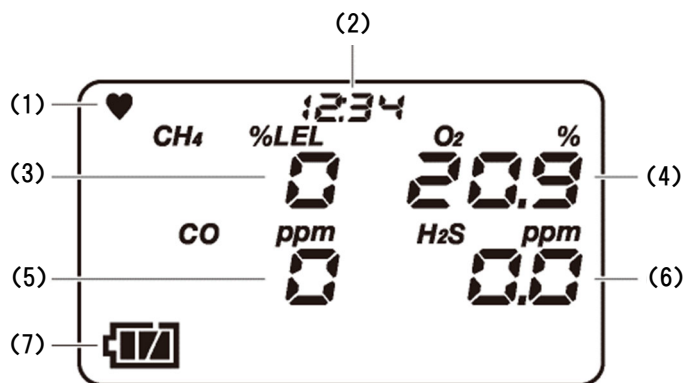
注意

- ブザー放音口やセンサの開孔部を、先の尖ったもので突かないでください。水や異物などが侵入して、故障や破損の原因となります。
- LCD 表示部のパネルシートを剥がさないでください。防水・防塵性能が損なわれます。
- 赤外線通信ポートにラベルやシールなどを貼り付けしないでください。赤外線通信ができなくなります。
- ブザー放音口をテープなどでふさがないでください。機器の内圧の調整ができなくなり、故障の原因となる可能性があります。

注記

- 本取扱説明書では、複数の機能名が割り付けられたボタンを、操作説明で次のような名称としています。
例) 名称「POWER/MODE ボタン」を、
・電源入/切の操作時には **POWER** ボタン
・設定時の確定操作には、**MODE** ボタン
としています。

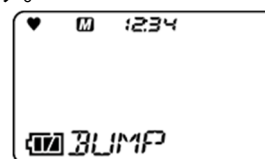
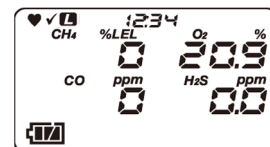
LCD 表示部



名称	主な機能
(1) 動作状態表示	動作状態を表示します。正常時は点滅します。
(2) 時計表示	時刻を表示します。
(3) 可燃性ガス 濃度表示	ガス濃度を数字で表示します。
(4) 酸素 濃度表示	可燃性ガスセンサ以外のセンサの濃度表示は 1 秒ごとに更新されます。
(5) 一酸化炭素 濃度表示	可燃性ガスの濃度表示は 5 秒ごと(ロングバッテリー動作時は 15 秒ごと)に更新されます。
(6) 硫化水素 濃度表示	
(7) 電池残量表示	電池残量を表示します。電池残量の目安は注記を参照してください。

注記

- 電池残量の目安を以下のように表示します。
 十分に残っています。
 少なくなっています。
 充電してください。
 さらに電池残量が少なくなると、電池マークが点滅します。
- バンプ期限切れ表示設定が ON 設定の場合、バンプ期限内には LCD 左上に「✓」マークが表示されます。バンプ期限表示設定については「6-4-3. 校正期限設定」(P.42)を参照してください
- ロングバッテリー機能が ON 設定の場合、LCD 左上に「L」マークが表示されます。
- ユーザーモード選択中は LCD 左上に「M」マークが表示されます。



4

警報動作

4-1. ガス警報動作

＜ガス警報の種類＞

「ガス警報」は、検知したガス濃度が下表に示す警報設定値に達する、または超えたときに発報します。（自己保持動作）

ガス警報の種類は、第一警報 (WARNING)、第二警報 (ALARM)、第三警報 (ALARM H)、TWA 警報、STEL 警報、OVER 警報 (オーバースケール)、M OVER 警報 (マイナスセンサ故障) です。

ガス警報の優先順位は、下記のとおりです。

第一警報 < 第二警報 < 第三警報 < M OVER 警報 < OVER 警報 < 積算警報点 < TWA 警報 < STEL 警報

＜初期設定＞

項目	測定ガス	可燃性ガス	酸素	CO	H ₂ S
		メタン/HC			
測定レンジ		0-100 %LEL	0-25 %	0-500 ppm	0-30 ppm
サービスレンジ		-	25-40 %	500-2000 ppm	30-200 ppm
最小分解能		1 %LEL	0.1 %	1 ppm	0.1 ppm
警報設定値 (TIIS 仕様)		第一警報: 10 %LEL 第二警報: 50 %LEL 第三警報: 50 %LEL OVER 警報: 100 %LEL MOVER 警報: -10%LEL	L: 18.0 % LL: 18.0 % H: 25.0 % OVER 警報: 40.0 % MOVER 警報: -1.6vol%	第一警報: 25 ppm 第二警報: 50 ppm 第三警報: 50 ppm TWA 警報: 25 ppm STEL 警報: 200 ppm OVER 警報: 2000 ppm MOVER 警報: -50ppm	第一警報: 1.0 ppm 第二警報: 10.0 ppm 第三警報: 10.0 ppm TWA 警報: 1.0 ppm STEL 警報: 5.0 ppm OVER 警報: 200.0 ppm MOVER 警報: -10.0ppm
警報設定値 (ATEX / IECEx 仕様)		第一警報: 10 %LEL 第二警報: 25 %LEL 第三警報: 50 %LEL OVER 警報: 100 %LEL MOVER 警報: -10%LEL	L: 19.5 % LL: 18.0 % H: 23.5 % OVER 警報: 40.0 % MOVER 警報: -1.6vol%	第一警報: 25 ppm 第二警報: 50 ppm 第三警報: 1200 ppm TWA 警報: 25 ppm STEL 警報: 200 ppm OVER 警報: 2000 ppm MOVER 警報: -50ppm	第一警報: 5.0 ppm 第二警報: 30.0 ppm 第三警報: 100.0 ppm TWA 警報: 1.0 ppm STEL 警報: 5.0 ppm OVER 警報: 200.0 ppm MOVER 警報: -10.0ppm

注記

- 初期設定は上記表の通りです。
- 上記表に値が記載されている第一警報 (WARNING)、第二警報 (ALARM)、第三警報 (ALARM H)、TWA 警報、STEL 警報は、設定値を変更できます。変更方法については「6-4-5. 警報点設定」(P.50)を参照してください。（「ー」が記載されている場合は変更できません。）
- M OVER 警報 (マイナスセンサ故障) とは、ゼロ点がマイナス側に潜った場合に発報します。

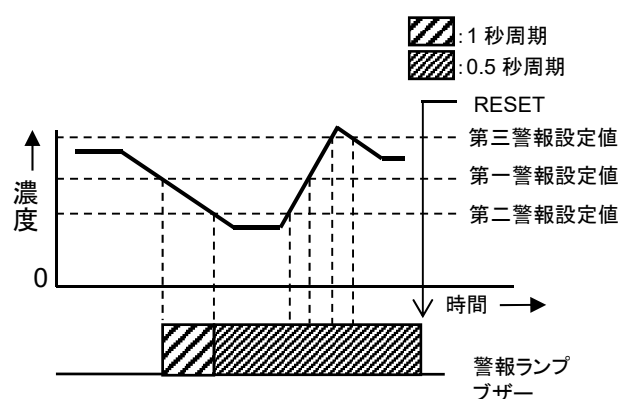
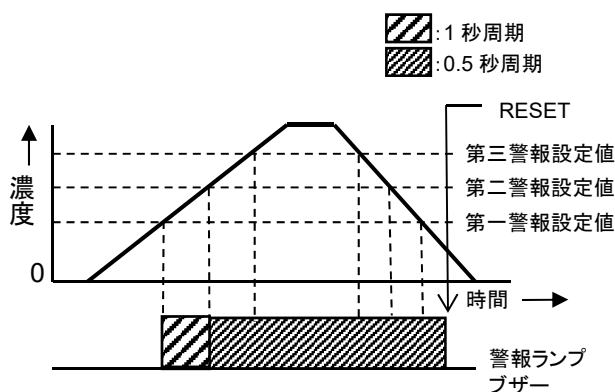
＜ガス警報のブザー鳴動とランプ点滅動作＞

ガス警報の動作は、ブザーの鳴動、警報窓のランプ点滅、バイブレーション動作を2段階で知らせます。
以下に種類ごとの動作を示します。

警報の種類	第一警報	第二警報	第三警報	TWA警報	STEL警報	OVER警報	M OVER警報
ブザー鳴動	約1秒周期の強弱鳴動を繰り返す。 「ピーピー」	約0.5秒周期の強弱鳴動を繰り返す。 「ピーピーピーピー」	約0.5秒周期の強弱鳴動を繰り返す。 「ピーピーピーピー」	約1秒周期の強弱鳴動を繰り返す。 「ピーピー」	約1秒周期の強弱鳴動を繰り返す。 「ピーピー」	約0.5秒周期の強弱鳴動を繰り返す。 「ピーピーピーピー」	約1秒周期の断続鳴動を繰り返す。 「ピーピー」
警報窓のランプ点滅	約1秒周期の点滅動作を繰り返す。	約0.5秒周期の点滅動作を繰り返す。	約0.5秒周期の点滅動作を繰り返す。	約1秒周期の点滅動作を繰り返す。	約1秒周期の点滅動作を繰り返す。	約0.5秒周期の点滅動作を繰り返す。	約1秒周期の点滅動作を繰り返す。
バイブレーション動作	警報時に振動						なし

酸素以外の場合『警報パターン(H-HH-HHH)』

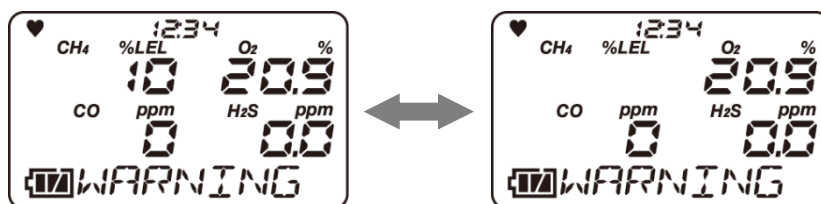
酸素の場合『警報パターン(L-LL-H)』



＜ガス警報の表示動作＞

ガス警報では、画面下に警報の種類が表示され、当該ガス濃度表示が点滅します。

検知範囲を超えると(オーバースケール)、画面下に「OVER」と表示され、ガス濃度表示部に「〇〇〇」が点滅します。



表示例メタン(CH4)濃度:10%LEL 第一警報発報

警報の種類	第一警報	第二警報	第三警報	TWA警報	STEL警報	OVER警報	M OVER警報
LCD表示	画面下に「WARNING」と表示され、ガス濃度値が点滅する。	画面下に「ALARM」と表示され、ガス濃度値が点滅する。	画面下に「ALARM H」と表示され、ガス濃度値が点滅する。	画面下に「TWA」と表示され、ガス濃度値が点滅する。	画面下に「STEL」と表示され、ガス濃度値が点滅する。	画面下に「OVER」、ガス濃度値に「〇〇〇」と表示され点滅する。	画面下に「M OVER」、ガス濃度値に「UUU」と表示され点滅する。



警告

- ガス警報が発報された場合は大変危険です。お客様の判断により安全を確保した上で適切な処置を行ってください。

注記

- 警報時の動作は、ディスプレイモードの警報テストで確認することができます。ただし、警報テストでは、ガス濃度値は点滅しません。

4-2. 故障警報動作

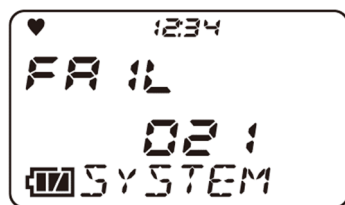
「故障警報」は、本器内での異常動作を検知して故障警報として発報します。（自己保持動作）

警報の種類は、システム異常、時計異常、電池電圧異常、センサ異常です。

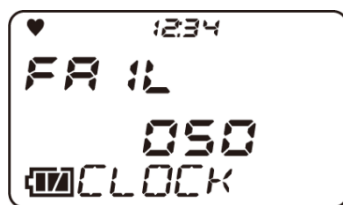
警報時の動作は、ブザー鳴動、警報窓のランプ点滅で知らせます。

- ブザー鳴動: 約 1 秒周期の間欠鳴動を繰り返す。「ピーピー、ピーピー」
- 警報窓のランプ点滅: 約 1 秒周期の点滅動作を繰り返す。

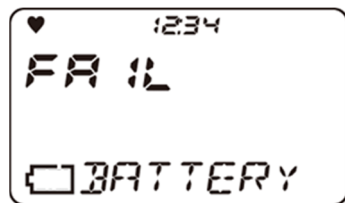
故障警報時の表示例を以下に示します。



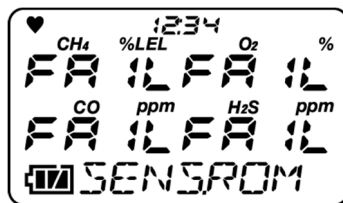
システム異常



時計異常



電池電圧異常



センサ異常

故障警報の発報時には、原因を究明し適切な対処を行ってください。

機器に問題があり、故障が頻発する場合は、速やかに弊社営業所にご連絡ください。

注記

- 故障内容(エラーメッセージ)の詳細については「トラブルシューティング」(P.76)を参照してください。

5

使用方法

5-1. ご使用にあたって

本器を初めてご使用になる方、および既にご使用経験のある方も、使用方法の注意事項を必ず守ってください。これらの注意事項を守らない場合には、機器の故障が生じ、正常にガスを検知できない場合があります。

5-2. 始動準備

ガス検知を開始する前に、以下の内容を確認してください。

- ・電池残量が十分であること
- ・本器内のフィルタが汚れていないこと、目詰まりがないこと

注記

- ・ 外部機器を使用して本器の設定を変更した場合は、正しく設定が変更されたことを必ず確認してください。
- ・ 本器の表示部には、傷防止のため出荷時に保護フィルムが添付されています。
- ・ ご使用になる前に、必ず保護フィルムを剥がしてください。この保護フィルムを貼付したままの製品では、防爆性能を担保できません。

5-2-1. リチウムイオン電池の充電

本器を初めて使用する場合や、リチウムイオン電池の電池残量が少ない場合は、以下の手順で、付属の充電器で充電してください。



危険

- ・ 充電は、安全な場所で、付属の充電器を使用して行ってください。
- ・ 充電は、0℃～+40℃の環境下で行ってください。



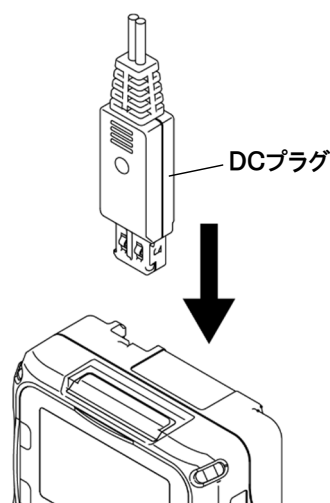
注意

- 充電は、必ず本器の電源を OFF にしてから行ってください。
- 充電を行いながら、本器を使用しないでください。正しい測定ができません。また、電池寿命が短くなり、充電電池の劣化が早まります。
- 充電器は防水・防塵構造ではありません。本体が濡れている状態で充電をしないでください。
- 充電器は防爆仕様ではありません。
- 充電中に本体が熱くなることがありますが、異常ではありません。
- 充電をすると本体温度が上がります。充電完了後、10 分以上経ってから使用してください。本体が熱いまま使用すると、正しく測定できない場合があります。
- 満充電の状態では、再度充電を行っても、充電できません。
- 充電器を使用しない場合は、必ずコンセントから抜いてください。

<リチウムイオン電池を充電する>

1 充電器の DC プラグを本体の充電用接点に差し込む

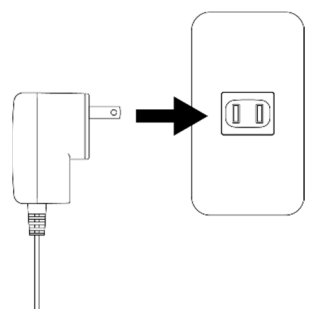
DC プラグのコードは、本体上面側から溝に合わせて差し込んでください。



2 充電器をコンセントに差し込む

充電器が接続されると、充電確認用ランプが緑色に点灯し、充電を開始すると橙色に点灯します。(最長約 3 時間で満充電)

充電が終了すると、充電確認用ランプが緑に点灯します。



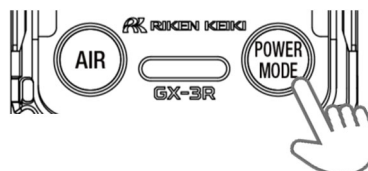
3 充電が終了したら、充電器をコンセントから抜く

5-3. 始動方法

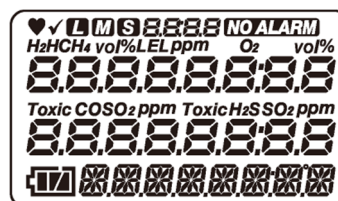
電源を入れると、日時や警報点などの各種設定を表示し、測定モードの画面を表示します。

電源を入れる

POWER ボタンをブザーが“ピッ”と鳴るまで
(3 秒以上)押す
電源が入ります。



LCD 表示部が全点灯します。



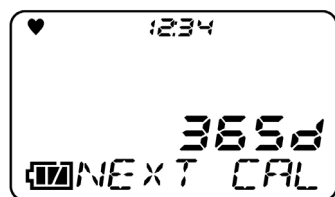
注記

- 電源を入れると LCD およびランプ、ブザーが動作し振動します。使用開始時、これらの動作が正常に行われることを確認してください。

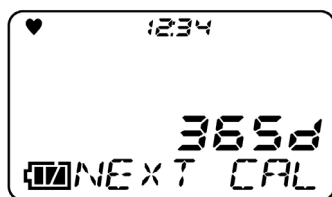
電源投入から測定画面までの遷移

電源投入後、以下のように LCD 表示が自動的に切り替わり、測定画面になります。

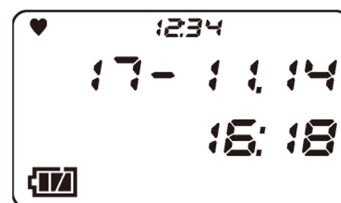
＜表示例 初期設定の場合＞（約 40 秒）



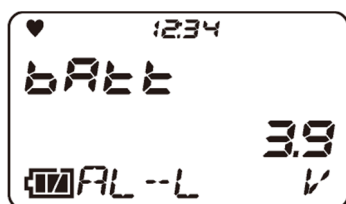
校正お知らせ表示画面
※TIIS 仕様のみ表示



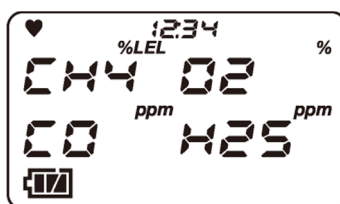
校正期限表示画面
※ATEX / IECEx 仕様のみ表示



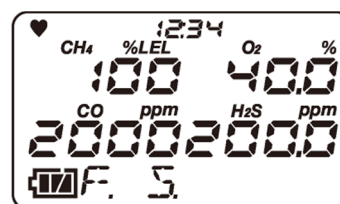
日時表示



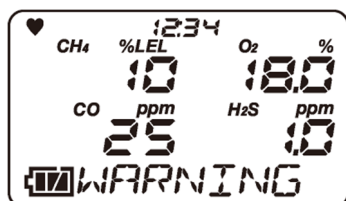
電池残量/警報動作表示



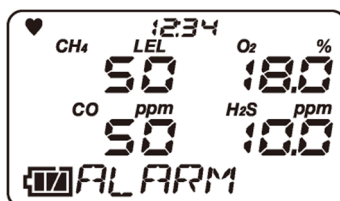
検知対象ガス名表示



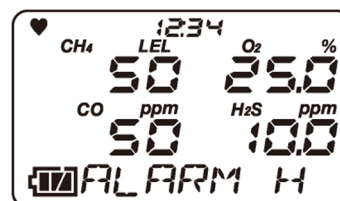
フルスケール表示



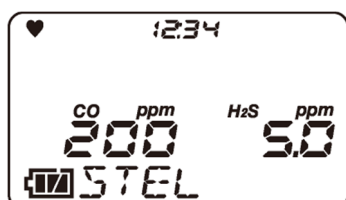
第一警報点表示



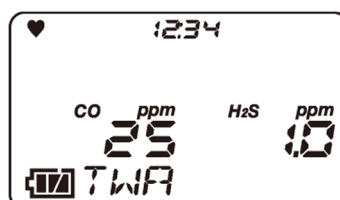
第二警報点表示



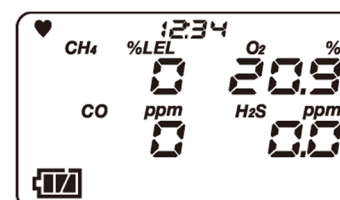
第三警報点表示



STEL 警報点表示



TWA 警報点表示



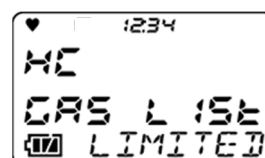
測定画面

ブザーが“ピップ”と2回
鳴り、測定画面となります。



注意

- 可燃性ガスを検知対象ガスとするタイプの場合、電池残量/警報動作表示後に、右記画面が表示され、ブザーが鳴動し、ランプが点滅する場合があります。この画面が表示された場合、可燃性ガスの読替機能にて一部の可燃性ガスに読み替えができなくなります。読み替えができなくなるガス種については、「6-2-2. 可燃性読替ガスの選択」(P.33)を参照してください。右記画面が表示された場合には、**[MODE]** ボタンを押すと一時的に警報を解除できますが、お早目に新しい可燃性ガスセンサに交換してください。
- 読み替えができないガスに設定されている場合、校正ガスに自動的に戻る。





注意

- センサに異常があった場合、測定画面になる直前に測定値に「FAIL」が表示され、センサ異常警報を発報します。このようなときは **[MODE]** ボタンを押すと、一時的にセンサ異常警報を解除できます。ただし、全てのセンサに異常があった場合は警報解除できません。警報解除後は、センサに異常のあったガス濃度表示部に「— — —」と表示され、センサに異常のあったガスの検知ができません。速やかに販売店または最寄りの弊社営業所までご連絡ください。
- 始動後、ガス検知を行う前に「5-4. エア校正」(P.25)を実施してください。

注記

- 内蔵時計に異常があった場合、故障警報「FAIL CLOCK」を発報することがあります。このようなときは **[MODE]** ボタンを押してください。一時的に故障警報が解除され、時計の日時は異常のまま測定を開始します。

ランチブレーク

ランチブレーク設定が ON の場合、電源投入時に前回電源 OFF したときの TWA 値と PEAK 値を保持して測定を継続するか、または前回電源 OFF したときの値をリセットするか確認する画面が 5 秒間のカウントダウンとともに表示されます。**[MODE]** ボタンを押すと測定データを保持し、**[AIR]** ボタンを押すと測定データをリセットします。5 秒間操作がない場合、自動で測定データを保持します。

バンプ期限

バンプ期限切れ設定が ON の場合、電源投入時に最後にバンプテストした日から任意設定の日付までの残日数を表示します。バンプテスト期限切れ設定については「6-4-3. 校正期限設定」(P.42)を参照してください。

校正お知らせ表示

TIIS 仕様

最後に校正した日から 1 年(365 日)後の日付およびそれまでの残日数が表示されます。最後に校正した日から 1 年以上経過している場合は、ブザーでお知らせします。ブザーは、**[POWER]** ボタンを押して解除することができます。

ATEX / IECEx 仕様

最後に校正した日から任意設定の日付までの残日数を表示します。校正期限の設定については「6-4-3. 校正期限設定」(P.42)を参照してください。

日時

年月日と時刻が表示されます。日付／時刻設定は、「6-4. ユーザーモードの設定」(P.42)で設定できます。

本器に IrDA 通信相手を近づけると、通信モードに遷移します。また通信相手がいないても、**[AIR]+[MODE]** ボタンの同時押しで、通信モードに遷移します。

電池残量/警報動作

画面上に電池残量(電圧)および警報動作設定(AL—L<自己保持>)を表示します。

本器に IrDA 通信相手を近づけると、通信モードに遷移します。また通信相手がいないても、**[AIR]+[MODE]** ボタンの同時押しで、通信モードに遷移します。

検知対象ガス名

検知対象ガス名を表示します。また可燃性ガス読み替え設定中の場合、画面下部分に読み替え中のガス名が表示されます。

フルスケール

検知対象ガスのフルスケール値を表示します。IEC または ISO の LEL 値を設定している場合、フルスケール表示部分に IEC または ISO と表示します。

第二警報点

検知対象ガスの 2 段階目の警報設定値を表示します。

第三警報点

検知対象ガスの 3 段階目の警報設定値を表示します。

STEL 警報点(可燃性ガスと酸素以外を検知対象とするタイプの場合のみ TWA 及び STEL が表示されます)

検知対象ガスの STEL の警報設定値を表示します。STEL 値は、使用者が 15 分間連続被曝した場合で、さらに毎日の被曝が TWA 値以下であれば健康上使用者に悪影響を及ぼさない有害物質の濃度です。

CO および H₂S が検知対象ガスに含まれないタイプの機器では表示されません。

TWA 警報点(可燃性ガスと酸素以外を検知対象とするタイプの場合のみ TWA 及び STEL が表示されます)
検知対象ガスの TWA の警報設定値を表示します。TWA 値は、1 日 8 時間、または週 40 時間の平常作業において反復曝露しても、ほとんど全ての使用者が健康上悪影響をこうむることがないと考えられる有害物質の時間加重平均値のことです。

5-4. エア校正

エア校正は、ガス濃度を正確に測定するために必要なゼロ調整です



警告

- エア校正を周辺空気で行う場合は、周辺が新鮮な大気であることを確認してから行ってください。雑ガスや干渉ガスなどが存在する状態で行うと、正しいエア校正が行えず、実際にガスが漏洩した場合に危険です。

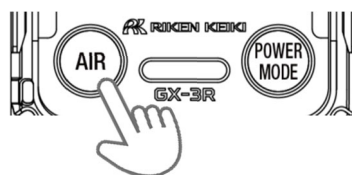


注意

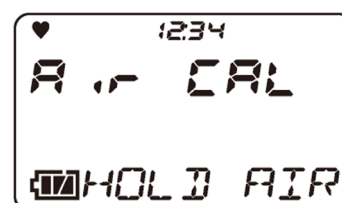
- 始動後、ガス検知を行う前にエア校正を実施してください。
- エア校正は、使用環境に近い状態の圧力、温湿度条件下で、かつ新鮮な大気中で行ってください。
- エア校正は、指示が安定してから行ってください。
- 保管場所と使用場所の温度が 15℃以上急変するような場合は、電源を入れた状態で使用場所と同様の環境下で 10 分程度馴染ませ、新鮮な大気中でエア校正を行ってから使用してください。

エア校正手順

- 測定モード画面で、**AIR** ボタンを長押しする



エア校正画面が表示されます。
右記の画面が表示されている間は、**AIR** ボタンを押し続けてください。
画面が表示される前または画面が表示されている間に指を離すと、エア校正は行われません。



- 右記の画面が表示されたら、**AIR** ボタンを離す



エア校正が正常に行われると、自動で測定モード画面に戻ります。

注記

- エア校正に失敗した場合、不良となったセンサの濃度表示部に「FAIL」と表示されます。**MODE** ボタンを押して故障警報(校正不良)を解除してください。警報が解除されると、校正前の値を表示します。

5-5. 検知する



危険

- マンホールの中や密閉された場所を測定する場合には、絶対にマンホールの入り口に身を乗りだしたり、中をのぞき込んだりしないでください。酸素欠乏空気、その他のガスが吹き出す可能性があります。危険です。



警告

- エア校正を周辺空気で行う場合は、周辺が新鮮な大気であることを確認してから行ってください。雑ガスや干渉ガスなどが存在する状態で行うと、正しい校正が行えず、実際にガスが漏洩した場合に危険です。
- ガス警報が発報された場合は大変危険です。お客様の判断により適切な処置を行ってください。
- 電池電圧が低下すると、ガス検知を行えなくなります。使用中に電池電圧低下警報が発報された場合は、電源を切り、安全な場所で速やかに充電をしてください。
- ブザー放音口をふさがないでください。警報音が聞こえなくなります。

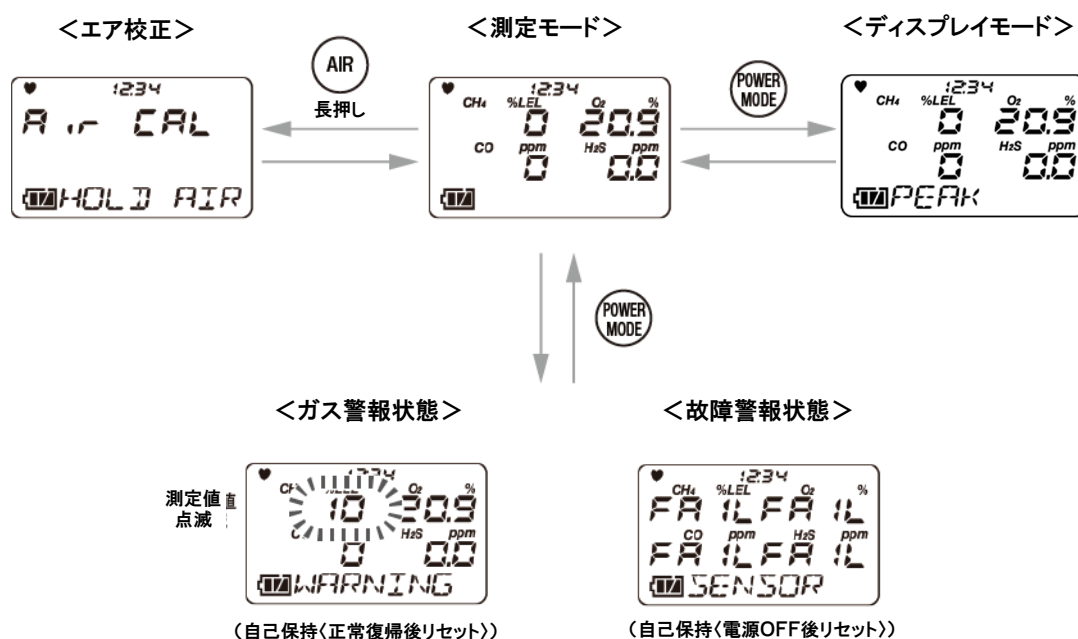


注意

- ガス検知を行う前に、各種設定を確認した上でご使用ください。

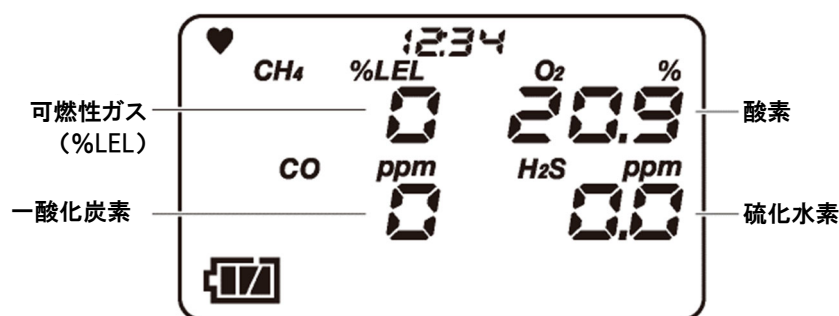
5-5-1. 基本動作フロー

電源投入後、測定モードの画面に進みます。



5-5-2. 測定モード

測定モードで、LCD 表示部の数値を読み取ってください。



表示例



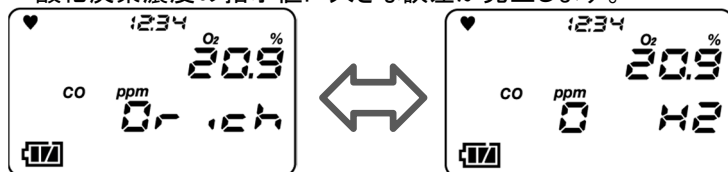
注意

- シリコン化合物、ハロゲン化物、高濃度の硫化物、高濃度の溶剤ガスなどが存在する環境にて可燃性ガスセンサを使用した場合、センサの寿命が短くなったり、センサの可燃性ガスに対する感度が低下し、正確な指示を得られなかったりする恐れがありますので、注意してください。やむを得ず使用する場合は使用時間を極力短くし、使用後は新鮮な大気中に放置し、指示が戻ったことを確認し、指示がふらつくなどの異常がないことを確認してください。
- 本器の可燃性ガスセンサ＜%LEL＞が正確なガス検知および濃度表示をするには、ある一定以上の酸素濃度が必要です。
- 本器に急激な圧力変化を与えないでください。酸素の指示値が一時的に変化して正確な測定ができません。
- 酸素センサの校正および調整時は、窒素以外のバランスガスを使用しないでください。酸素の指示誤差が大きくなり、正確な測定ができません。
- 吸着性の高いガスと接触してしまった場合には、新鮮な大気中に放置して、指示値がゼロに戻ったことを確認してから使用してください。
- 硫化水素センサ(H₂S)は、急激な温度変化に対して一時的な変動を示す可能性があります。環境雰囲気下で十分なじませてから使用してください。

注記

- 可燃性ガス読み替え設定中の場合、画面下部分に読み替え中のガス名が表示されます。
- 低温の環境下では、電池の性能上、使用時間が短くなります。
- 低温時は、LCD 表示部の応答が遅くなる場合があります。
- 100%LEL 以上の高い濃度の可燃性ガスと接触した場合は、フィルタ内に吸着したガスが残っている恐れがあります。高濃度の可燃性ガスと接触した後は必ず新鮮な大気中に放置して、指示値がゼロ付近になるまでエアクリーニングを行い、吸着ガスを除去してください。完全にクリーニングされる前にエア校正を行うと、正確な調整とならず、測定に影響を及ぼす可能性があります。
また 100%LEL を検知した後はロッキングオーバーとなり、酸素が下がるか MODE ボタンを押さないと復旧しません。
- 一酸化炭素センサ(CO)および硫化水素センサ(H₂S)は低温および高温時にゼロ点の変動する可能性があります。その場合は、環境雰囲気下でエア校正を行ってください。

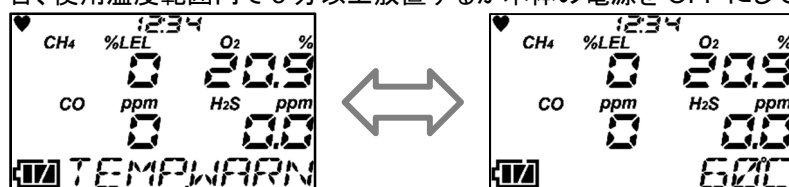
- 一酸化炭素センサ(ESR-A1CP)は水素による干渉を低減する補正機能を搭載したセンサです。この機能は最大 2000ppm の水素に対して機能します。2000ppm 以上の濃度の水素を検知した場合、濃度表示部に「H₂」と「rich」を交互に表示します。測定は継続できますが、水素干渉の影響を大きく受けているため、一酸化炭素濃度の指示値に大きな誤差が発生します。



濃度表示部: RICH

濃度表示部: H₂

- 一酸化炭素センサは測定レンジを超える高濃度のガスに接触した場合、一時的に感度が低くなる可能性があります。高濃度のガスに接触した後は必ず新鮮な大気に放置してエアクリーニングを行ってください。
- 硫化水素センサ(H₂S)は測定レンジを超える高濃度ガスに接触した場合、一時的に感度が低くなる可能性があります。高濃度のガスに接触した後は必ず新鮮な大気に放置してエアクリーニングを行ってください。
- 使用温度範囲外で20分以上測定している場合、温度範囲異常が発報します。温度範囲異常が発報した場合、使用温度範囲内で5分以上放置するか本体の電源を OFF にしてください。



5-6. 電源を切る

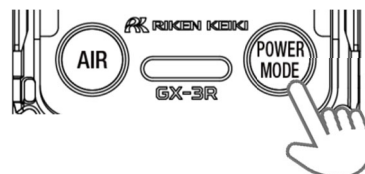


注意

- 測定終了後、濃度表示がゼロ(酸素濃度表示の場合、20.9%)に戻っていない場合は、新鮮な大気中に放置して表示がゼロに戻ってから電源を切ってください。

POWER ボタンを押し続ける

電源を切るときは、安全な場所で、表示がゼロ(0、酸素は20.9%)に戻ってから、**POWER** ボタンを長押しします。



ブザーが“ピッピッピッ”と3回鳴り、表示部に「TURN OFF」と表示され、電源が切れます。



電源オフ表示

注記

- 電源を切る際は、表示が消えるまで押し続けてください。



注意

- 機器が汚れている場合は、ウエスや水で濡らして固く絞った布などで拭き取ってください。
- 機器の汚れを拭き取る際は、アルコールやベンジンなどの有機溶剤や市販のクリーナーを使用しないでください。

6

設定方法

6-1. ディスプレイモード

ディスプレイモードでは、各種表示の確認と変更などを行うことができます。また、変更した設定は記録されます。

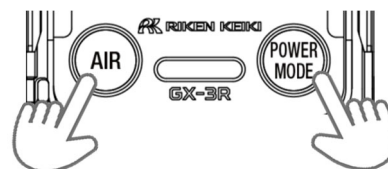
6-1-1. ディスプレイモードを表示する

測定モードの画面で、**MODE** ボタンを押す
MODE ボタンを押すたびに、各種画面が順番に表示されます。

設定を変更するときには、**AIR** ボタンを押す
 設定画面が表示されます。

各種設定終了後は、**MODE** ボタンを押す
 設定を記録し、前の画面に戻ります。

測定モードの画面に戻るときは、ディスプレイモードで
MODE ボタンを何度か押す



注記

- 何も操作されない状態が約 20 秒間続くと、測定画面に戻ります。
- 警報設定値の表示中に、**AIR** ボタンと **MODE** ボタンを同時に押すと、警報テストを行うことができます。
- ディスプレイモードの表示中に、**AIR** ボタンと **MODE** ボタンを同時に長押しすると、測定モードに戻ります。
- 設定を変更中に、中止するときは、**AIR** ボタンと **MODE** ボタンを同時に長押ししてください。ディスプレイモードに戻ります。

6-1-2. ディスプレイモードの表示内容

画面表記 (設定項目)	表示内容	LCD 表示	参照ページ
PEAK 表示 (PEAK/PEAK リセット)	電源を入れてから現在までの間で検知された、ガスの最高濃度値 (酸素の場合は最低濃度) を表示します。		AIR ボタンを長押しして PEAK 値クリア画面へ (P.32)

画面表記 (設定項目)	表示内容	LCD 表示	参照ページ
STEL 表示 (STEL) ※CO、H2S のみ表示	電源を入れてから現在までの STEL 値を表示します。 STEL 値とは 60 秒間の測定値の 平均値データ 15 個分の合計を 15 で割った値です。 数値は 60 秒ごとに更新します。		----
TWA 表示 (TWA) ※CO、H2S のみ表示	電源を入れてから現在までの TWA 値を表示します。 TWA 値とは 60 秒間の測定値の 平均値の積算を 480 で割った値で す。 数値は 60 秒ごとに更新します。		----
可燃性読替ガス選択 (HC GAS) ※可燃性ガスを検知対象と する仕様のみ表示	本器にあらかじめ登録されている ガスリストから、読替えるガス種を 選択します。		ボタンを押して 設定画面へ (P.33)
ロングライフバッテリー 設定 (LONG.BATT) ※可燃性ガスを検知対象と する仕様のみ表示	ロングライフバッテリーの ON/OFF を行います。		ボタンを押して 設定画面へ (P.35)
校正記録表示 (CAL DATA) ※ATEX / IECEx のみ表示	校正したガス種と日付を 表示します。		ボタンを押して 表示画面へ (P.36)
BUMP 記録表示 (BUMP DATA)	バンプテストのガス種と日付を 表示します。		ボタンを押して 表示画面へ (P.36)
日時温度表示 (DATE)	日付と時刻、温度を表示します。		----
警報設定値表示 (ALARM POINTS)	各種警報設定値を表示します。		ボタンを押して 確認画面へ (P.36)

注記

- PEAK 表示と TWA 表示は、ランチブレイク機能を ON にすると、前回の電源を OFF したときの測定値を引き継いで表示されます。
- 可燃性読替ガス選択 (HC GAS) は、校正ガス種が CH₄ と i-C₄H₁₀ 以外の場合には、表示されません。
- バンプ記録表示は、ユーザーモードにてバンプ期限切れ表示の ON/OFF を ON にすると表示されます。
- 校正記録表示は、ユーザーモードにて校正期限切れ表示の ON/OFF を ON にすると表示されます。
- 日時温度表示の項目で表示される温度は機器の内部温度を表示しており、実際の使用環境温度とは異なります。

6-2. ディスプレイモードの設定

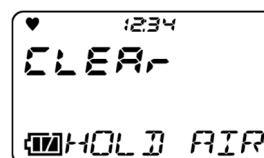
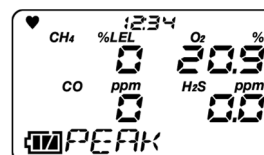
ディスプレイモードは、測定画面から表示を切り替えて設定内容の確認や変更ができます。

6-2-1. PEAK 値表示のクリア

PEAK 値(電源を入れてから現在までの間の最高濃度の測定値、酸素では最低濃度)をクリアします。

1 測定画面で、**MODE** ボタンを押し、**PEAK** 画面を表示させる

2 **AIR** ボタンを長押しする



3 画面に「**RELEASE**」が表示されたら、**AIR** ボタンから指を離す



PEAK 値がクリアされると、「END」が表示され手順 1 の画面に戻ります。

6-2-2. 可燃性読替ガスの選択

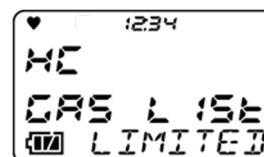
可燃性ガスの測定を、本器にあらかじめ登録してあるガスに読み替え、濃度表示することができます。
変更できる可燃性ガスは以下になります。

<可燃性読替ガス種一覧> 読替ガス名	ガス名表示	校正ガス種読替可否		読替制限時 読替可否
		CH4	i-C4H10	
メタン	CH4	-	×	○
イソブタン	i-C4H10	○	-	○
水素	H2	○	○	○
メタノール	CH3OH	○	○	×
アセチレン	C2H2	○	○	○
エチレン	C2H4	○	○	○
エタン	C2H6	○	×	○
エタノール	C2H5OH	○	○	×
プロピレン	C3H6	○	○	○
アセトン	C3H6O	○	○	×
プロパン	C3H8	○	×	○
ブタジエン	C4H6	○	○	○
シクロペンタン	C5H10	○	○	○
ベンゼン	C6H6	○	○	×
n-ヘキサン	n-C6H14	○	○	○
トルエン	C7H8	○	○	×
n-ヘプタン	n-C7H16	○	○	○
キシレン	C8H10	○	○	×
n-ノナン	n-C9H20	○	○	×
酢酸エチル	EtAc	○	○	×
イソプロピルアルコール	IPA	○	○	×
メチルエチルケトン	MEK	○	○	×
メタクリル酸メチル	MMA	○	○	×
ジメチルエーテル	DME	○	○	×
メチルイソブチルケトン	MIBK	○	○	×
テトラヒドロフラン	THF	○	○	×



注意

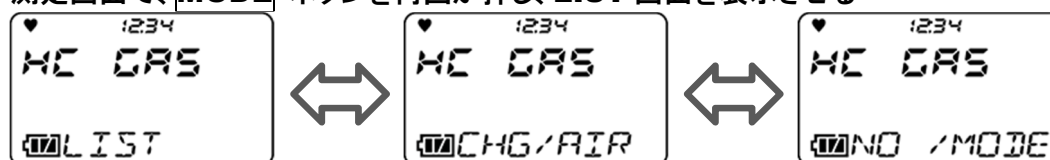
- 可燃性ガスを検知対象ガスとするタイプの場合、電源 ON 時またはガス校正後に、右記画面が表示され、ブザーが鳴動し、ランプが点滅する場合があります。この画面が表示された場合、上記表の「読替制限時読替可否」欄に×印が記載されているガス種に対して読替機能が使用できなくなります。右記画面が表示された場合には、**MODE** ボタンを押すと一時的に警報を解除できますが、お早目に新しい可燃性ガスセンサに交換してください。



注記

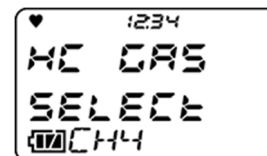
- 可燃性読替ガスの選択は、CH₄ か i-C₄H₁₀ のときに表示されます。
- ユーザーモードの「ディスプレイモード項目表示の ON/OFF」が OFF の場合には表示されません。
- 設定を変更中に、中止するときは、**AIR** ボタンと **MODE** ボタンを同時に長押ししてください。ディスプレイモードに戻ります。
- 仕様一覧に記載の警報精度および警報遅れ時間は、校正ガスにのみ適用されます。
- 読み替えによる濃度表示は目安です。正確に濃度表示するには測定対象ガスでガス校正をする必要があります。測定対象ガスによるガス感度校正については、販売店または最寄りの弊社営業所までご依頼ください。
- 読み替えできるガスのリストは、「可燃性読替えガス種一覧」(P.33)を参照してください。
- 本器には、検知する可燃性ガスにより、複数の仕様があります。仕様により読み替えできないガス種があります。「可燃性読替えガス種一覧」を参照してください。
- 可燃性読替ガスを選択している場合にも、その他の可燃性ガスが使用環境に存在している場合には指示が出ます。
- ただし、水素(H₂)を読替ガスに選択した場合には、「可燃性読替ガス一覧」の「読替制限時読替可否」については使用環境に存在している場合にも指示が出ません。
- 読み替えを行う場合、本器の指示精度を満たさなくなります。

1 測定画面で、**MODE** ボタンを何回か押し、**LIST** 画面を表示させる



2 **AIR** ボタンを何回か押し、変更する可燃性ガスを表示させる

AIR ボタンを押すたびに可燃性ガスが切り替わります。
初期設定は可燃性ガスセンサの校正ガスです。



3 画面に変更する可燃性ガスが表示されたら、**MODE** ボタンを押す

「END」が表示され手順 1 の画面に戻ります。

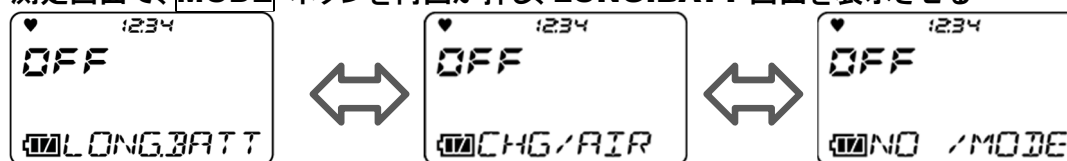
6-2-3. ロングライフバッテリーの設定

ロングライフバッテリーの ON/OFF を切り替えます。初期設定は、「OFF」です。
ON にすると、可燃性ガスの濃度更新が 5 秒に 1 回から 15 秒に 1 回に変更されます。

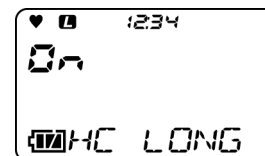
注記

- 電源を切っても、設定は保持されます。
- ディスプレイモード設定項目表示が OFF の場合は、表示されません。
- ロングライフバッテリーを ON にすると、可燃性ガスセンサのマイナスセンサ故障が出なくなります。
- ロングライフバッテリーを ON にすると、画面上に「L」マークが点灯します。

- 1 測定画面で、**MODE** ボタンを何回か押し、**LONG.BATT** 画面を表示させる



- 2 **AIR** ボタンを押し、「ON」または「OFF」を選択する
初期設定は「OFF」です。



- 3 **MODE** ボタンを押す
「END」が表示され手順 1 の画面に戻ります。

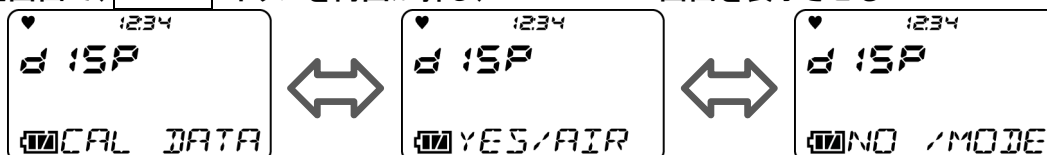
6-2-4. 校正記録の表示

校正したガス種と日付を表示します。

注記

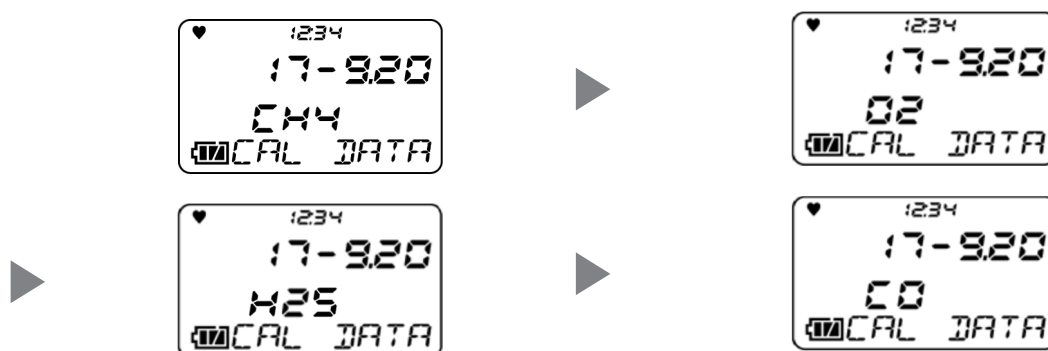
- ユーザーモードにて校正期限機能設定が OFF の場合には表示されません。ATEX / IECEx 仕様のみ表示します。

- 1 測定画面で、**MODE** ボタンを何回か押し、**CAL DATA** 画面を表示させる



- 2 **AIR** ボタンを押し、「YES」または「NO」を選択する

AIR ボタンを押すたびに「CH₄」→「O₂」→「H₂S」→「CO」の順に表示されます



- 3 **MODE** ボタンを押す

「END」が表示され手順 1 の画面に戻ります。

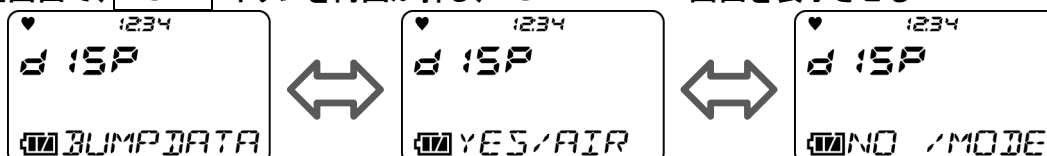
6-2-5. バンプ記録の表示

バンプ期限機能のバンプ期限とガス種を表示します。

注記

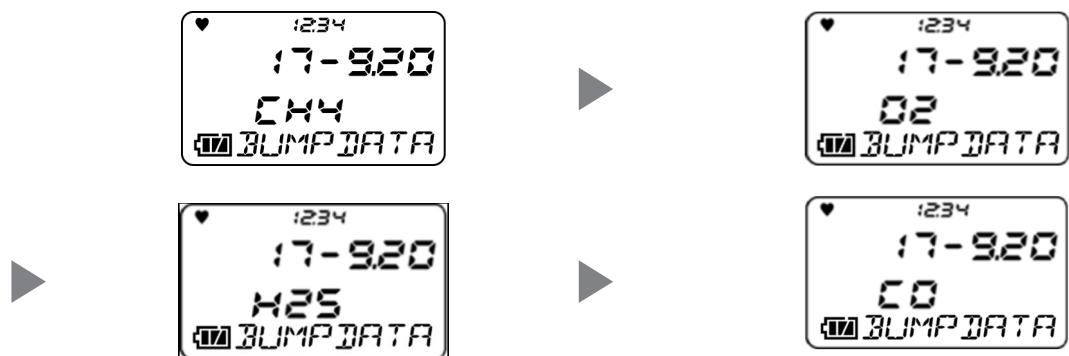
- ユーザーモードにてバンプ期限設定が OFF の場合には表示されません。

- 1 測定画面で、**MODE** ボタンを何回か押し、**BUMP DATA** 画面を表示させる



- 2 **AIR** ボタンを押し、「YES」または「NO」を選択する

AIR ボタンを押すたびに、「CH₄」→「O₂」→「H₂S」→「CO」→「CO₂」→……の順に表示されます。



3 **MODE** ボタンを押す

手順 1 の画面に戻ります。

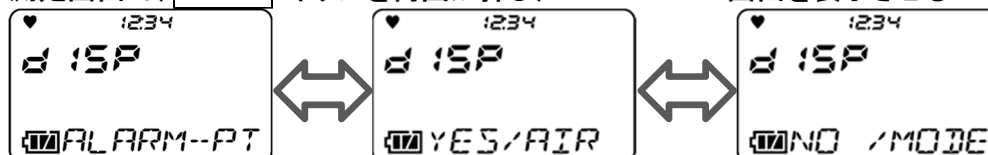
6-2-5. 警報設定値の表示

警報設定値の表示および LED・ブザー・バイブレーションの動作テストをすることができます。

注記

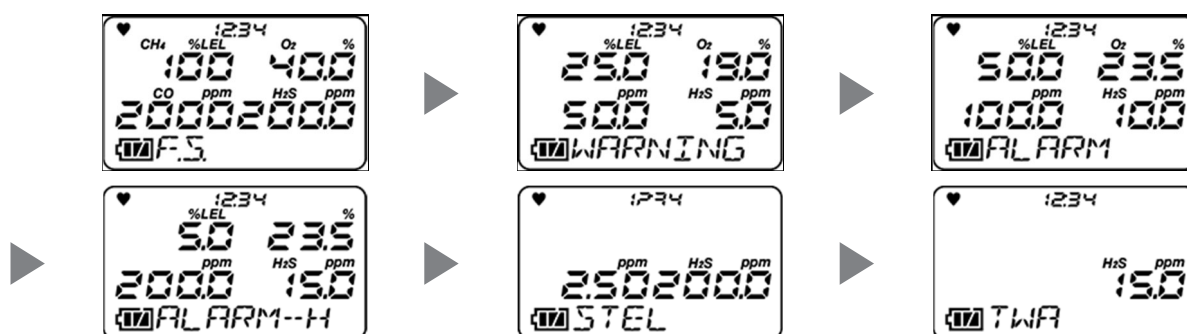
- 可燃性ガスと酸素以外を検知対象とするタイプの場合のみ TWA 及び STEL が表示されます。

1 測定画面で、**MODE** ボタンを何回か押し、**ALARM-PT** 画面を表示させる



2 **AIR** ボタンを押す

AIR ボタンを押すたびに、「F.S.」(FULL SCALE)→「WARNING」→「ALARM」→「ALARM H」→「STEL」→「TWA」→「F.S.」(FULL SCALE)→……の順に表示されます。



AIR ボタンと **MODE** ボタンを同時に押すと、当該警報の作動テストができます。警報を解除するには、いずれかのボタンを押します。

3 **MODE** ボタンを押す

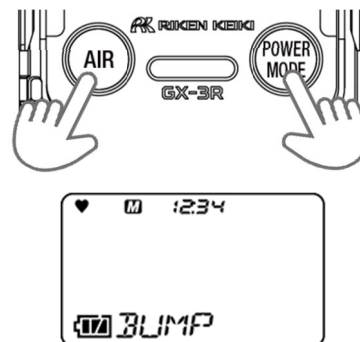
手順 1 の画面に戻ります。

6-3. ユーザーモード

ユーザーモードでは、日時や警報点の設定などを行うことができます。

6-3-1. ユーザーモードを表示する

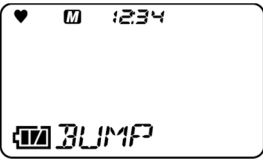
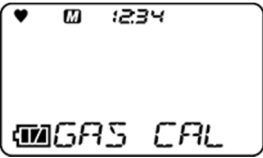
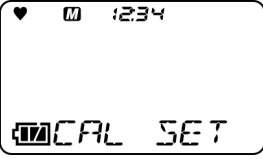
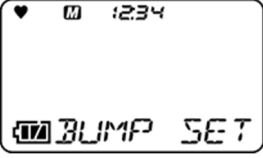
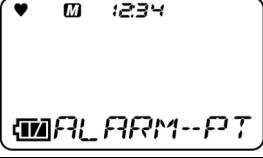
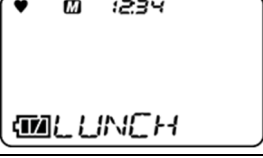
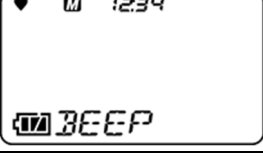
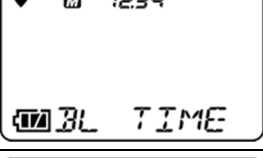
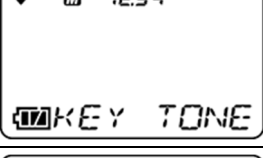
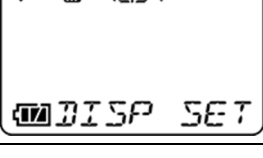
- 1 電源を切った状態で、**AIR** ボタンと **POWER** ボタンを押す
- 2 『ピッ』と鳴ったら、ボタンから指を離す
電源が入り、ユーザーモードメニューが表示されます。
- 3 **AIR** ボタンで設定する項目を選択し、**MODE** ボタンで設定画面に移動する
- 4 設定終了後は、ユーザーモードメニューで **AIR** ボタンを何度か押し、「**START**」を選択して **MODE** ボタンを押す
電源を入れたときと同様の動作をして、測定画面に進みます。

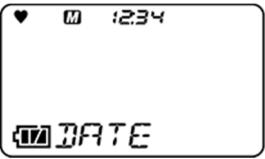
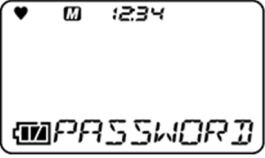
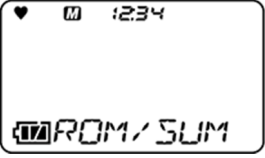


注記

- 各種設定後はユーザーモードメニューに戻ります。設定の途中で戻るときは、**AIR** ボタンと **MODE** ボタンを同時に長押ししてください。
- ユーザーモードパスワード設定がONの場合、パスワード画面が表示されます。パスワードを初期設定する場合には、「6-4-12.パスワード設定」(P.56)に設定方法を記載しています。

6-3-2. ユーザーモードの設定項目

画面表記(設定項目)	LCD 表示	参照ページ
バンプテスト(BUMP)		P. 42
ガス校正(GAS CAL)		P.42
校正期限設定(CAL SET) ※ATEX / IECEx 仕様のみ表示されます。		P.42
バンプテストの設定(BUMP SET)		P.45
警報点設定(ALARM-PT)		P.50
ランチブレークの ON/OFF (LUNCH)		P.52
コンファメーションビープ設定(BEEP)		P.52
LCD 点灯時間設定(BL TIME)		P.54
キー操作音の ON/OFF (KEY TONE)		P.55
ディスプレイモード項目表示の ON/OFF (DISP SET)		P.55

画面表記(設定項目)	LCD 表示	参照ページ
日時設定 (DATE)		P.56
パスワード設定 (PASSWORD)		P.56
ROM/SUM の表示 (ROM/SUM)		P.57
測定開始へ (START)		

6-4. ユーザーモードの設定

ユーザーモードは、使用するユーザーに使いやすいように設定を変更できます。

6-4-1. バンプテスト

本器はバンプテスト(機能検査)を行う機能を備えています。
バンプテストの操作手順については、「7-3. バンプテスト(BUMP TEST)」(P.68)を参照してください。

6-4-2. ガス校正

本器の GAS CAL モードでは、エア校正に加えて、あらかじめ設定したガス濃度値で校正を行う AUTO CAL を実施できます。
ガス感度校正を行うには専用の器具と校正用ガスが必要になりますので、販売店または最寄りの弊社営業所までご連絡ください。
ガス校正の操作手順については、「7-2. ガス校正」(P.60)を参照してください。

注記

- 設定を終えるときは、**AIR** ボタンを押して「ESCAPE」を選択し、**MODE** ボタンを押してください。ユーザーモードメニューに戻ります。

6-4-3. 校正期限設定

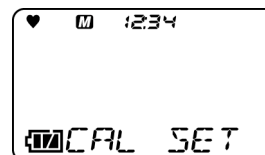
ここでは、「校正期限の ON/OFF」、「校正期限日数設定」、「校正期限切れ後の動作設定」を行うことができます。
※ATEX / IECEx 仕様のみ表示されます。

注記

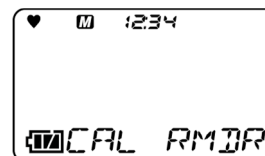
- 設定を終えるときは、**AIR** ボタンを押して「ESCAPE」を選択し、**MODE** ボタンを押してください。ユーザーモードメニューに戻ります。

<校正期限設定の設定メニュー>

- 1 ユーザーモードメニューで **AIR** ボタンを押して「**CAL SET**」を選択し、**MODE** ボタンを押す
校正期限設定のメニュー画面が表示されます。



- 2 **AIR** ボタンを押して設定を選択し、**MODE** ボタンを押す

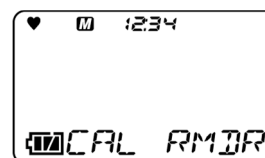


設定項目	LCD 表示	参照ページ
CAL RMDR		<校正期限の ON/OFF>P.43
CAL INT		<校正期限日数設定>P.44
CAL EXPD		<校正期限切れ後の動作設定>P.44
ESCAPE		

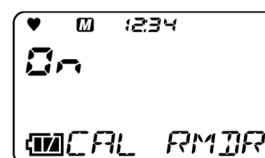
<校正期限の ON/OFF>

校正期限の ON/OFF を選択できます。

- 1 **AIR** ボタンを押して「**CAL RMDR**」を選択し、
MODE ボタンを押す
校正期限の ON/OFF 選択が表示されます。



- 2 **AIR** ボタンを押して校正期限の **ON/OFF** を選択し、**MODE** ボタンを押す
AIR ボタンを押すと、校正期限の ON/OFF を選択できます。初期設定は初期設定「ON」です。
※ATEX / IECEx 仕様のみ

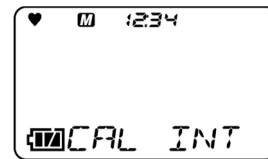


- 3 **MODE** ボタンを押す
「END」が表示され、校正期限設定メニューに戻ります。

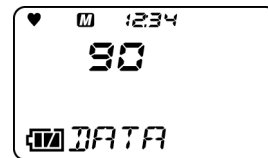
＜校正期限日数設定＞

校正期限の日数を選択できます。

- 1 **AIR** ボタンを押して「**CAL INT**」を選択し、
MODE ボタンを押す



- 2 **AIR** ボタンを押して校正期限日数を選択する
AIR ボタンを押すと、校正期限の日数を 1～1000 日から
選択できます。初期設定は「90 日」です。

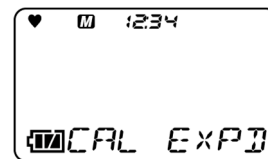


- 3 **MODE** ボタンを押す
「END」が表示され、校正期限設定メニューに戻ります。

＜校正期限切れ後の動作設定＞

校正期限切れ後の動作を設定できます。

- 1 **AIR** ボタンを押して「**CAL EXPD**」を選択し、
MODE ボタンを押す



- 2 **AIR** ボタンを押して
校正期限切れ後の動作を選択する
AIR ボタンを押すと、以下の校正期限切れ後の動作が
表示されます。
 - ・CONFIRM : 期限切れの場合、確認して測定モードに
進む、またはユーザーモードに進むか
選択できます。
 - ・CANT USE: 期限切れの場合、測定モードに進めなく
なります。期限が切れた場合は、ユーザー
モードに進むか選択できます。
 - ・NONE: 期限切れの場合、期限切れであることを表示
して測定モードに進むかユーザーモードに進む
か選択できます。初期設定は「CONFIRM」です。



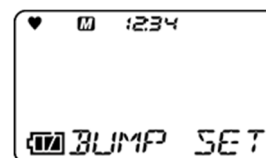
- 3 **MODE** ボタンを押す
「END」が表示され、校正期限設定メニューに戻ります。

6-4-4. バンプテストの設定

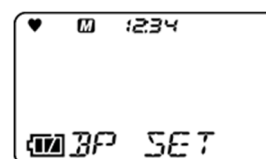
ここでは、バンプテストの各種作動条件を設定することができます。

<バンプテストの設定メニュー>

- 1 ユーザーモードメニューで **AIR** ボタンを押して「**BUMP SET**」を選択し、**MODE** ボタンを押す
バンプテストのメニュー画面が表示されます。



- 2 **AIR** ボタンを押して設定を選択し、**MODE** ボタンを押す



設定項目	LCD 表示	参照ページ
SETTINGS		<バンプ時間の選択>P.46 <バンプ許容率の選択>P.47 <バンプテスト後のガス校正時間の選択>P.47 <バンプテスト後のガス校正の ON/OFF>P.48
BUMP.RMDR		<バンプ期限切れ表示の ON/OFF>P.48
BUMP INT		<バンプ期限日数の選択>P.49
BUMP.EXPD		<バンプ期限切れ後の動作設定>P.49
ESCAPE		

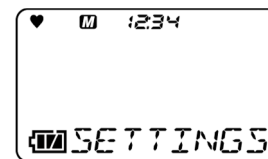
注記

- 設定を終えるときは、**AIR** ボタンを押して「ESCAPE」を選択し、**MODE** ボタンを押してください。ユーザーモードメニューに戻ります。

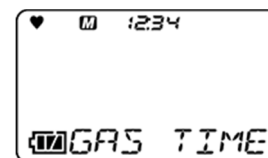
＜バンプ時間の選択＞

試験ガスを導入する時間を設定します。

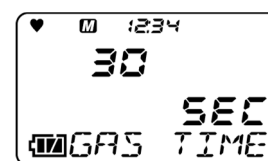
- 1 **AIR** ボタンを押して「**SETTINGS**」を選択し、
MODE ボタンを押す
バンプテスト設定メニューが表示されます。



- 2 **AIR** ボタンを押して「**GAS TIME**」を選択し、
MODE ボタンを押す
バンプ時間が表示されます。



- 3 **AIR** ボタンを押してバンプ時間を選択し、**MODE**
ボタンを押す
AIR ボタンを押すと、バンプ時間を、30、45、60、90 秒か
ら選択できます。初期設定は「30 秒」です。



- 4 **MODE** ボタンを押す
「END」が表示され、バンプテスト設定メニューに戻りま
す。

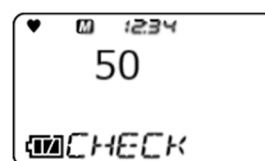
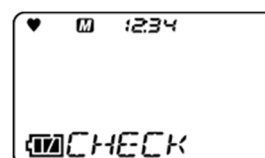
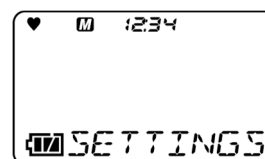
＜バンプ許容率の選択＞

試験ガスに対するチェックのしきい値を設定します。

酸素以外: 校正濃度 ± (校正濃度 × 許容率)

酸素: 校正濃度 ± (校正濃度と 20.9% の差 × 許容率)

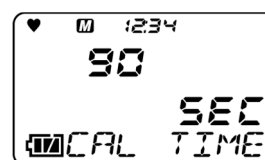
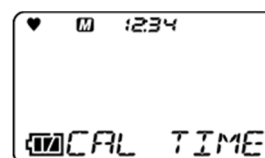
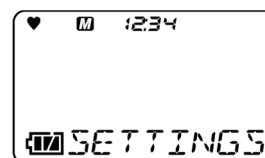
- 1 **AIR** ボタンを押して「**SETTINGS**」を選択し、**MODE** ボタンを押す
バンプテスト設定メニューが表示されます。
- 2 **AIR** ボタンを押して「**CHECK**」を選択し、**MODE** ボタンを押す
バンプ許容率が表示されます。
- 3 **AIR** ボタンを押してバンプ許容率を選択し、**MODE** ボタンを押す
AIR ボタンを押すと、バンプ許容率を、10、20、30、40、50%から選択できます。初期設定は「50%」です。
- 4 **MODE** ボタンを押す
「END」が表示され、バンプテスト設定メニューに戻ります。



＜バンプテスト後のガス校正時間の選択＞

バンプテスト失敗後に行うガス校正の時間を選択します。

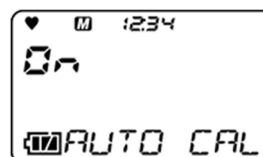
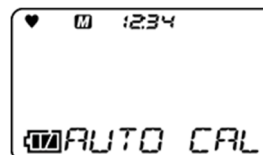
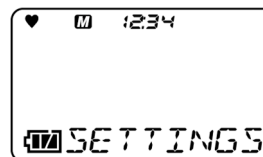
- 1 **AIR** ボタンを押して「**SETTINGS**」を選択し、**MODE** ボタンを押す
バンプテスト設定メニューが表示されます。
- 2 **AIR** ボタンを押して「**CAL TIME**」を選択し、**MODE** ボタンを押す
バンプテスト後に行うガス校正の時間が表示されます。
- 3 **AIR** ボタンを押してバンプテスト後のガス校正時間を選択し、**MODE** ボタンを押す
AIR ボタンを押すと、バンプテスト後に行うガス校正の時間を、90、120 秒から選択できます。初期設定は「90 秒」です。
- 4 **MODE** ボタンを押す
「END」が表示され、バンプテスト設定メニューに戻ります。



＜バンプテスト後のガス校正の ON/OFF＞

バンプテストに失敗した場合、自動でガス校正を行う機能を ON/OFF できます。

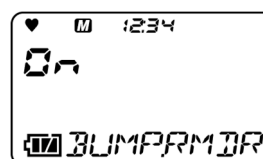
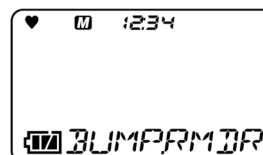
- 1 **AIR** ボタンを押して「**SETTINGS**」を選択し、
MODE ボタンを押す
バンプテスト設定メニューが表示されます。
- 2 **AIR** ボタンを押して「**AUTO CAL**」を選択し、
MODE ボタンを押す
バンプテスト失敗後のガス校正の ON/OFF 選択が表示されます。
- 3 **AIR** ボタンを押してバンプテスト失敗後のガス校正の **ON/OFF** を選択し、**MODE** ボタンを押す
AIR ボタンを押すと、バンプテスト失敗後のガス校正の ON/OFF を選択できます。初期設定は「ON」です。
- 4 **MODE** ボタンを押す
「END」が表示され、バンプテスト設定メニューに戻ります。



＜バンプ期限切れ表示の ON/OFF＞

バンプテスト期限切れ通知の選択を行います。

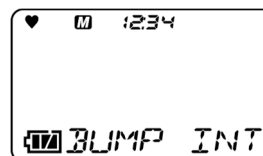
- 1 **AIR** ボタンを押して「**BUMP.RMDR**」を選択し、
MODE ボタンを押す
バンプテスト期限切れ通知の ON/OFF 選択が表示されます。
- 2 **AIR** ボタンを押してバンプ期限切れ表示の **ON/OFF** を選択する
AIR ボタンを押すと、バンプ期限切れ表示の ON/OFF を選択できます。初期設定は「OFF」です。
- 3 **MODE** ボタンを押す
「END」が表示され、バンプテスト設定メニューに戻ります。



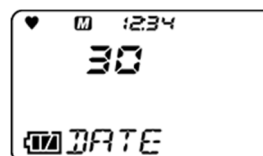
＜バンプ期限日数の選択＞

バンプテスト実施後にバンプ期限切れ通知をするまでの期間を設定します。

- 1 **AIR** ボタンを押して「**BUNP INT**」を選択し、
MODE ボタンを押す
バンプテスト期限日数を選択できます。



- 2 **AIR** ボタンを押してバンプ期限日数を選択する
AIR ボタンを押すと、バンプ期限日数を 0～30 日から選択できます。初期設定は「30 日」です。

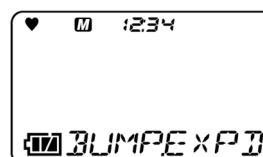


- 3 **MODE** ボタンを押す
「END」が表示され、バンプテスト設定メニューに戻ります。

＜バンプ期限切れ後の動作設定＞

バンプテストの期限切れ表示後の動作を選択します。

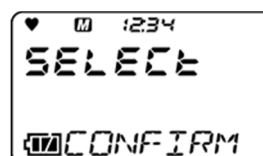
- 1 **AIR** ボタンを押して「**BUMP EXPD**」を選択し、
MODE ボタンを押す
バンプ期限切れ動作を選択できます。



- 2 **AIR** ボタンを押してバンプ期限切れ動作確認後の操作を選択する
AIR ボタンを押すと、以下のバンプ期限切れ動作が表示されます。

- ・CONFIRM : 期限切れの場合、確認して測定モードに進む、またはユーザーモードに進むか選択できます。
- ・CANT USE: 期限切れの場合、測定モードに進めなくなります。期限が切れた場合は、ユーザーモードに進むか選択できます。
- ・NONE: 期限切れの場合、期限切れであることを表示してユーザーモードに進むか選択できます。

初期設定は「CONFIRM」です。



- 3 **MODE** ボタンを押す
「END」が表示され、バンプテスト設定メニューに戻ります。

6-4-5. 警報点設定

ここでは第一～第三の警報点と STEL 警報点、TWA 警報点の設定、および設定を初期設定に戻すことができます。

＜警報点の設定＞

警報点は、1 デジット単位で設定できます。

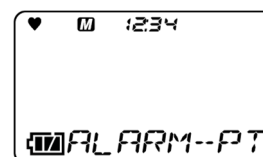
検知対象ガス	1 デジット	設定下限値	設定上限値
可燃性ガス (HC/CH ₄)	1 %LEL	5 %LEL	60 %LEL
一酸化炭素 (CO)	1 ppm	20 ppm	2000 ppm
硫化水素 (H ₂ S)	0.1 ppm	1.0 ppm	200.0 ppm

検知対象ガス	1 デジット	第一警報/第二警報		第三警報	
		設定下限値	設定上限値	設定下限値	設定上限値
酸素 (O ₂)	0.1 vol%	0.0 %	20.0 %	21.8 %	40.0 %

注記

- 警報点は第一警報 ≤ 第二警報 ≤ 第三警報(酸素の場合は第一警報 ≥ 第二警報)となるように設定してください。

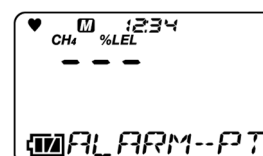
- 1 ユーザーモードメニューで、**AIR** ボタンを押して「ALARM-PT」を選択し、**MODE** ボタンを押す



- 2 **AIR** ボタンを押してガスの種類を選択し、**MODE** ボタンを押す

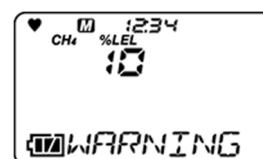
AIR ボタンを押すたびに、検知対象ガスおよび警報点リセット画面 (P.51) が表示されます。

MODE ボタンを押すと、第一警報点 (WARNING) の設定画面が表示されます。



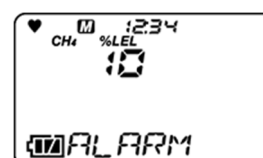
- 3 **AIR** ボタンを押して第一警報点の数値を選択し、**MODE** ボタンを押す

第二警報点 (ALARM) の設定画面が表示されます。



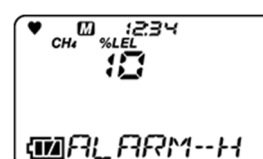
- 4 **AIR** ボタンを押して第二警報点の数値を選択し、**MODE** ボタンを押す

第三警報点 (ALARM H) の設定画面が表示されます。



- 5 **AIR** ボタンを押して第三警報点の数値を選択し、**MODE** ボタンを押す

有毒性ガスの場合には、続けて STEL、TWA の設定画面が表示されますので、同様の操作で設定してください。「END」が表示され、警報点リセット画面が表示されます。



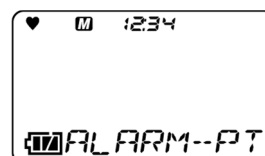
注記

- 設定をリセットするときは、「警報点のリセット」(P.51)を参照してください。本器が正しく設定されていない場合には、「警報点のリセット」が表示されない場合があります。このようなときは、販売店または最寄りの弊社営業所までご連絡ください。
- 警報点については、「4 警報動作」(P.16)を参照してください。

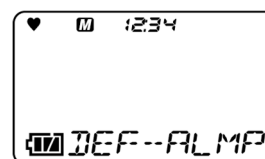
<警報点のリセット>

警報点を初期設定時の状態に戻します。

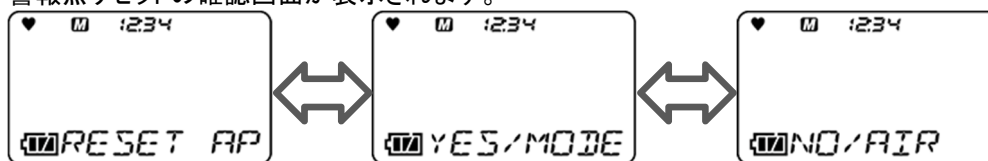
- 1 ユーザーモードメニューで、**AIR** ボタンを押して「**ALARM-PT**」を選択し、**MODE** ボタンを押す



- 2 **AIR** ボタンを数回押す
警報点リセット画面が表示されます。

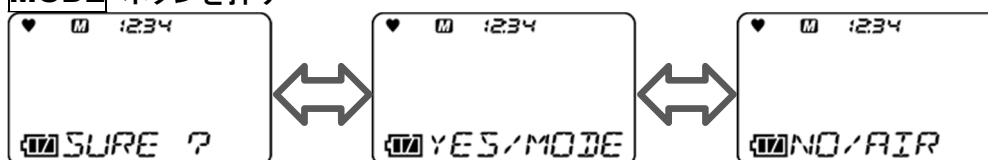


- 3 **MODE** ボタンを押す
警報点リセットの確認画面が表示されます。



リセットを中止するときは、**AIR** ボタンを押してください。

- 4 **MODE** ボタンを押す



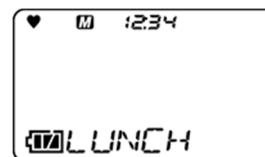
警報点リセットの確認画面が表示されます。

- 5 **MODE** ボタンを押す
「END」が表示され、ユーザーモードメニューに戻ります。

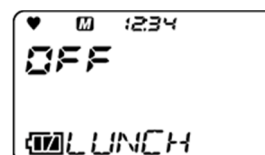
6-4-6. ランチブレークの ON/OFF

ランチブレークの ON/OFF を行うことができます。ランチブレークは、前回電源を OFF したときの TWA 値と PEAK 値を保持し、起動時に読み出して測定を継続する機能です。

- 1 ユーザーモードメニューで、**AIR** ボタンを押して「LUNCH」を選択し、**MODE** ボタンを押す
ランチブレークの設定画面が表示されます。



- 2 **AIR** ボタンを押してランチブレークの ON/OFF を選択する
AIR ボタンを押すと、ランチブレークの ON/OFF を選択できます。初期設定は「OFF」です。



- 3 **MODE** ボタンを押す
「END」が表示され、ユーザーモードメニューに戻ります。

注記

- ランチブレークを ON にすると、電源投入時に前回電源 OFF したときの TWA 値と PEAK 値を保持して測定を継続するか、または前回電源 OFF したときの値をリセットするか確認する画面が表示されます。

6-4-7. コンファメーションビープ設定

コンファメーションビープは、本器が正常に動作しているかを音で知らせる機能です。

測定中、設定された間隔ごとにブザーが鳴ります。また「BUMP/CAL」「ALM ALRT」「B/C/ALM」により、下記機能を動作させることも可能となります。

1. BUMP/CAL

- 校正期限機能が ON で校正期限切れ、またはバンプ期限機能が ON でバンプ期限切れの場合に動作を開始する。
- 一回動作を開始すると、搭載されているすべてのガス種を校正またはバンプを行うまで停止しない。
(H2 キャンセルは除く)
- 間隔設定時間ごとに LED が約 1 秒点灯する。

2. ALM ALRT

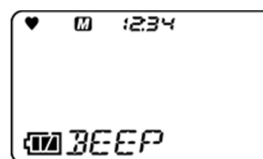
- ガス警報を発報した場合に動作を開始する。(マイナスセンサ故障も含む)
- 一回動作を開始すると、搭載されているすべてのガス種を校正またはバンプを行うまで停止しない。
(H2 キャンセルは除く)
- 間隔設定時間ごとに LED が約 1 秒点灯する。

3. B/C/ALM

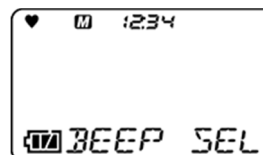
- 校正期限設定が ON で校正期限切れ、またはバンプ期限機能が ON でバンプ期限切れの場合に動作を開始する。
- 一回動作を開始すると、搭載されているすべてのガス種を校正またはバンプを行うまで停止しない。
(H2 キャンセルは除く)
- 間隔設定時間ごとに LED が約 1 秒点灯する。

<コンファメーションビープ設定メニュー>

- 1 ユーザーモードメニューで **AIR** ボタンを押して「**BEEP**」を選択し、**MODE** ボタンを押す
コンファメーションビープのメニュー画面が表示されます。



- 2 **AIR** ボタンを押して設定を選択し、**MODE** ボタンを押す



設定項目	LCD 表示	参照ページ
BEEP SEL		<ビープ動作の設定>P51
BEEP INT		<ビープ音の間隔設定>P.51
ESCAPE		

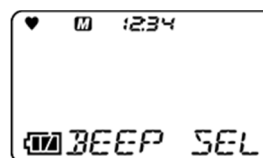
注記

- 設定を終えるときは、**AIR** ボタンを押して「ESCAPE」を選択し、**MODE** ボタンを押してください。ユーザーモードメニューに戻ります。

<ビープ動作の設定>

コンファメーションビープの動作を設定できます。

- 1 **AIR** ボタンを押して「**BEEP SEL**」を選択し、**MODE** ボタンを押す
ビープ動作の選択画面が表示されます。ただし設定を変更した場合、「BUMP/CAL」「ALM ALRT」「B/C/ALM」の動作が停止します。



- 2 **AIR** ボタンを押す
AIR ボタンを押すたびに、以下の画面が表示されます。
 - ・OFF
 - ・LED(LED 点灯のみ)
 - ・BUZZER(ブザーのみ)
 - ・LED+ BUZZ(LED 点灯とブザー)
 - ・BUMP/CAL



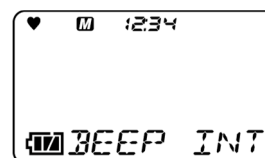
- ・ALM ALRT
 - ・B/C/ALM
- 初期設定は「OFF」です。

- MODE** ボタンを押す
「END」が表示され、コンファメーションビープ設定メニューに戻ります。

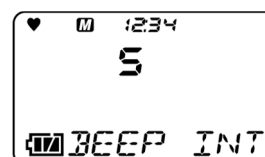
＜ビープ音の間隔設定＞

コンファメーションビープのブザー音の動作間隔を設定できます。

- AIR** ボタンを押して「**BEEP INT**」を選択し、**MODE** ボタンを押す
ビープ間隔の設定画面が表示されます。



- AIR** ボタンを押す
AIR ボタンを押すと、ビープの間隔を、0.5 か 1～99 分から選択できます。初期設定は「5 分」です。

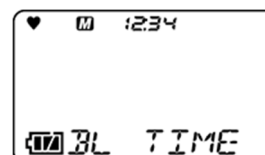


- MODE** ボタンを押す
「END」が表示され、コンファメーションビープ設定メニューに戻ります。

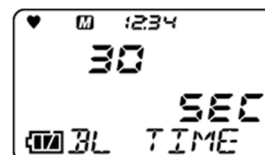
6-4-8. LCD 点灯時間設定

LCD 表示部の点灯時間を設定できます。

- ユーザーモードメニューで、**AIR** ボタンを押して「**BL TIME**」を選択し、**MODE** ボタンを押す
バックライトの点灯時間設定画面が表示されます。



- AIR** ボタンを押しバックライトの点灯時間を選択する
AIR ボタンを押すと、バックライトの点灯時間を、OFF、1～255 秒から選択できます。初期設定は「30 秒」です。

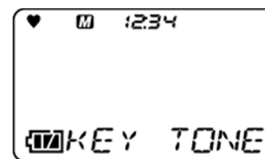


- MODE** ボタンを押す
「END」が表示され、ユーザーモードメニューに戻ります。

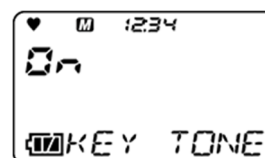
6-4-9. キー操作音の ON/OFF

キー操作音の ON/OFF 設定を行います。

- 1 ユーザーモードメニューで、**AIR** ボタンを押して「**KEY TONE**」を選択し、**MODE** ボタンを押す
キー操作音の設定画面が表示されます。



- 2 **AIR** ボタンを押してキー操作音の **ON/OFF** を選択する
AIR ボタンを押すと、キー操作音の ON/OFF を選択できます。初期設定は「ON」です。

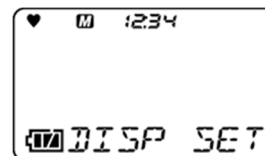


- 3 **MODE** ボタンを押す
「END」が表示され、ユーザーモードメニューに戻ります。

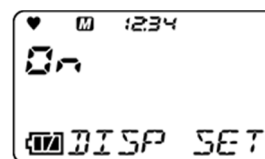
6-4-10. ディスプレイモード項目表示の ON/OFF

ディスプレイモードの項目に、設定できる項目を表示するかどうかの ON/OFF 設定を行います。
OFF に設定した場合、ディスプレイモードにて「可燃性読替ガス選択」の項目などが表示されなくなります。

- 1 ユーザーモードメニューで、**AIR** ボタンを押して「**DISP SET**」を選択し、**MODE** ボタンを押す
ディスプレイモード項目表示の設定画面が表示されます。



- 2 **AIR** ボタンを押してディスプレイモード項目表示の **ON/OFF** を選択する
AIR ボタンを押すと、ディスプレイモード項目表示の ON/OFF を選択できます。初期設定は「ON」です。



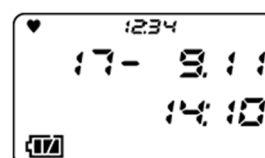
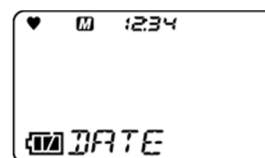
- 3 **MODE** ボタンを押す
「END」が表示され、ユーザーモードメニューに戻ります。

6-4-11. 日時設定

内部時計の日時設定を行います。

- 1 ユーザーモードメニューで、**AIR** ボタンを押して「**DATE**」を選択し、**MODE** ボタンを押す
日時設定画面が表示されます。
点滅している項目を設定することができます。
- 2 **AIR** ボタンを押して、設定項目を選択し、**MODE** ボタンを押す
年→月→日→時→分の順に、日時を設定してください。

「分」の項目を合わせて **MODE** ボタンを押すと、「END」が表示され、ユーザーモードメニューに戻ります。

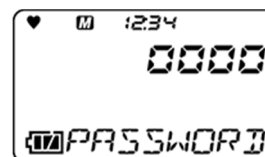
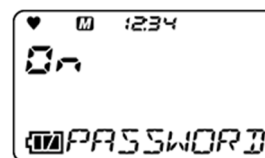
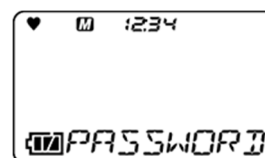


6-4-12. ユーザーパスワード設定

ユーザーモードへの遷移をパスワードで保護することができます。なお、パスワードは 0000～9999 の間で設定することができます。

- 1 ユーザーモードメニューで、**AIR** ボタンを押して「**PASSWORD**」を選択し、**MODE** ボタンを押す
ユーザーモードのパスワード設定画面が表示され ON/OFF が設定できます。
- 2 **AIR** ボタンを押して「**ON**」を選択し、**MODE** ボタンを押す
パスワード入力画面が表示されます。
初期設定は「0000」です。
「0000～9999」の間で設定できます。
- 3 **AIR** ボタンを押して、**0～9**を選択し、**MODE** ボタンを押す
最初の桁に最初のパスワードが入力され、次の桁が点滅します。

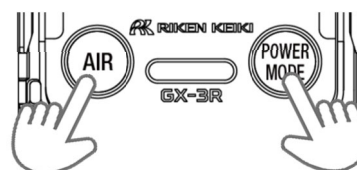
最後の桁を入力して **MODE** ボタンを押すと、「END」が表示され、ユーザーモードメニューに戻ります。



パスワードを設定した場合のユーザーモードへの入りかた＞

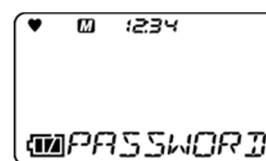
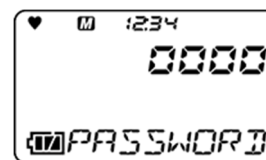
- 1 電源を切った状態で、**AIR** ボタンと **POWER** ボタンを押す

“ピッ”と鳴ったら、ボタンから指を離してください。
パスワード入力画面が表示されます。



- 2 設定したパスワードを入力する

AIR ボタンを押して数値を選択し、**MODE** ボタンを押して決定します。

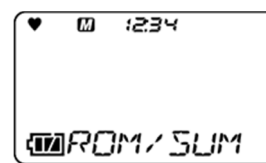


全てのパスワードを入力すると、ユーザーメニューが表示されます。
パスワードが正しくない場合、エラー表示後「5-3.始動方法」の「電源投入から測定画面までの遷移」に遷移します。

6-4-13. ROM/SUM 表示

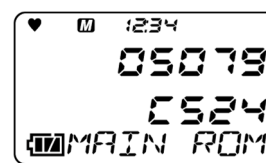
本器のプログラム番号および SUM 値を表示します。
※通常、お客様においては使用しません。

- 1 ユーザーモードメニューで、**AIR** ボタンを押して「ROM/SUM」を選択し、**MODE** ボタンを押す
ROM/SUM 画面が表示されます。



ROM/SUM 画面で、以下の情報が交互に表示されます。

- ・MAIN ROM
- ・SENS. ROM



- 2 **MODE** ボタンを押す

「END」が表示され、ユーザーモードメニューに戻ります。

7

保守点検

本器は防災・保安上重要な計器です。

本器の性能を維持し、防災・保安上の信頼性を向上するために、定期的な保守・点検を実施してください。

7-1. 点検の頻度と点検項目

ご使用になる前に、以下の項目を定期的に点検してください。

- ・日常点検: 作業前に点検します。
- ・1ヶ月点検: 1ヶ月に1回、警報テストを行って点検します。
- ・定期点検: 1年に1回以上(推奨: 6ヶ月に1回以上)の頻度で行ってください。

点検項目	点検内容	日常点検	1ヶ月点検	定期点検
電池残量	電池残量が十分であるか確認してください。	○	○	○
濃度表示	新鮮な空気を測定して濃度表示値が 0(酸素計では 20.9%)であることを確認してください。0 でない場合は、周囲に雑ガスがないことを確認してエア校正を行ってください。	○	○	○
本体動作	LCD 表示を確認し、故障表示がないか確認してください。	○	○	○
フィルタ	フィルタに汚れがないか確認してください。	○	○	○
警報テスト	警報テストを実施し、警報窓のランプおよびブザー、バイブレーション動作が正常に動作するか確認してください。	—	○	○
ガス感度校正	試験用標準ガスを用いて感度校正をしてください。	—	—	○
ガス警報確認	試験用標準ガスを用いてガス警報の確認を行ってください。	—	—	○



警告

- ・ 万一、本器に異常が見つかった場合は、速やかに販売店または最寄りの弊社営業所までご連絡ください。

注記

- ・ ガス感度校正を行うには専用の器具と試験用標準ガスの作製が必要になります。したがって、ガス感度校正については、販売店または最寄りの弊社営業所までご連絡ください。
- ・ 本器に内蔵しているセンサは有効期限があり定期的に交換が必要です。
- ・ ガス感度校正の際、校正できない、エア校正しても指示が戻らない、指示がふらつくなどの症状が出たら、センサの寿命です。販売店または最寄りの弊社営業所までご依頼ください。

メンテナンスサービスについて

弊社では、ガス感度校正などを含めた定期点検、調整、整備などに関するサービスを行っております。

試験用標準ガスを作製するには、所定濃度のガスボンベや、ガス袋など専用器具が必要となります。

弊社指定のサービス員は、作業を行う上での専用器具や、その他製品に関する専門知識などを備えたスタッフで構成されております。機器の安全動作を維持するために、弊社メンテナンスサービスをご利用ください。

メンテナンスサービスの主な内容を以下に記します。詳細は、弊社営業所までお問い合わせください。

＜主なメンテナンスサービスの内容＞

電池残量の確認	電池残量の確認を行います。
濃度表示の確認	ゼロガスを用いて濃度表示値がゼロ(酸素計では 20.9%)であることを確認します。 指示がずれている場合はゼロ校正(ゼロ調整)を行います。
フィルタの確認	ダストフィルタの汚れ具合や目詰まりがないかを確認します。 汚れが目立つ場合や、目詰まりを起こしている場合は交換します。
警報テスト	警報テストを実施し、警報ランプおよびブザー、パイブレーションが正常に動作することを確認します。
ガス感度校正	試験用標準ガスを用いて感度校正を行います。
ガス警報確認	試験用標準ガスを用いてガス警報を確認します。 ● 警報確認(警報設定値に達した際に警報の発信を確認) ● 遅れ時間確認(警報を発信するまでの遅れ時間を確認) ● ブザー、ランプ、パイブレーション、濃度表示の確認(警報3段階、それぞれの動作を確認)
機器の清掃・修繕 (目視診断)	機器外観の汚れや傷を確認し、目立った箇所を清掃・修繕します。 亀裂や破損がある場合は、部品を交換します。
機器の操作確認	ボタン操作をして各種機能の動作確認や、パラメーターなどをチェックします。
劣化部品の交換	センサやフィルタなど、劣化部品を交換します。

7-2. ガス校正

本器のガス校正では、エア校正に加えて、あらかじめ設定したガス濃度値で校正を行う AUTO 校正を実施できます。

ガス感度校正を行うには専用の器具と校正用ガスが必要になりますので、販売店または最寄りの弊社営業所までご連絡ください。



注意

- ライターガスを使用して本器の感度点検を行わないでください。ライターガスに含まれる成分により、センサの性能を劣化させる恐れがあります。

7-2-1. ガス校正の準備

<準備機材>

- 校正ガス
- ガス袋
- ガス校正用キャップ(別売品)
- ポンプ

<推奨校正ガス濃度>

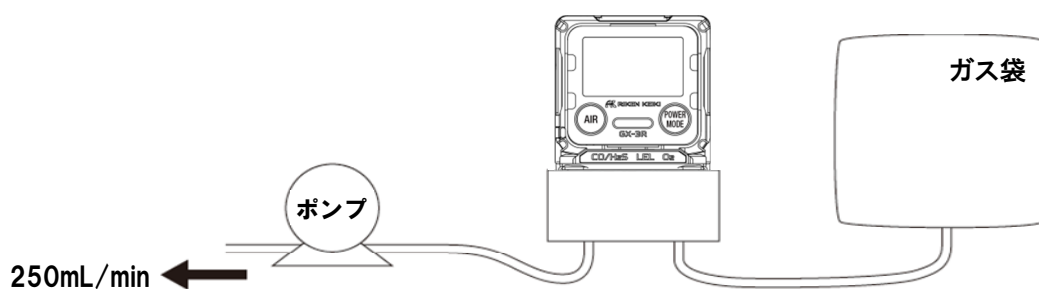
検知対象ガス	センサ型式	校正ガス	校正ガス濃度
可燃性ガス(HC)	NCR-6309	イソブタン($i\text{-C}_4\text{H}_{10}$)	50 %LEL (0.9 vol%)
可燃性ガス(CH_4)	NCR-6309	メタン(CH_4)	50 %LEL (2.5 vol%)
硫化水素(H_2S)	ESR-A1DP または ESR-A13i	硫化水素(H_2S)	25.0 ppm
酸素(O_2)	ESR-X13P	酸素(O_2) 窒素希釈	12.0 %
一酸化炭素(CO)	ESR-A1DP または ESR-A1CP または ESR-A13P	一酸化炭素(CO)	50 ppm
一酸化炭素(CO)	ESR-A1CP	水素(H_2) 空気希釈	500 ppm

※水素は 10℃～30℃が校正温度範囲となります。

※バンプテスト用ガスも同様となります。

<ガス供給方法>

本器にガス校正用キャップを装着し、下記の通りにガス袋を接続して吸引流量 250 mL/min にてガスを導入して、指示値上昇から 60 秒後に校正を実行します。





警告

校正ガスについて

校正用ガスには危険性を含むガス（可燃性ガス、毒性ガス、酸素欠乏など）を使用することになりますので、ガスおよび関連する治工具の取扱には十分留意してください。

ガス袋について

正確に校正を行うため、ガス袋はガス種ごと、および濃度ごとに使い分けてください。

ガス校正する場所について

- ガス校正作業は、密閉された空間で行わないでください。
- ガス校正を行う際は、シリコーン、スプレー缶のガスなどを使用しない場所で行ってください。
- 常温で温度の変動の小さい（±5℃以内）室内で行ってください。

一酸化炭素センサ (ESR-A1CP) のガス校正について

- 水素干渉を補正する機能を備えた一酸化炭素センサ (ESR-A1CP) は、一酸化炭素と水素のそれぞれについて校正が必要です。
- 校正に使用する一酸化炭素、水素は、それぞれ単独のガスを使用してください。混合ガスを使用した場合でも校正の操作は可能ですが、正しい感度に校正できないため、不正確な濃度が表示されます。
- 水素感度の校正を行わないと、水素が共存する環境で測定を行った場合に、一酸化炭素の指示値が高め、または低めに出ることがあります。



注意

- 乾燥した環境で長期間使用、保管されますと水素のガス感度校正ができなくなる場合があります。水素ガス感度校正時に FAIL SENSOR が表示された場合は、湿度が十分に存在する環境で本体を一晩以上放置してから再度ガス校正を行ってください。ただし CO ガス感度校正ができなくなった場合は販売店または最寄りの弊社営業所までセンサ交換を依頼ください。

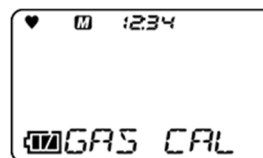
注記

- 上記の他に、RP-3R(オプション)や SDM-3R(オプション)を用いてガス校正を行うこともできます。なお、RP-3R(オプション)を用いる場合、ポンプモードは Low モードを使用してください。

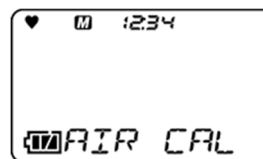
7-2-2. ガス校正の設定メニュー

ここでは、「エア校正」、「オート校正の校正濃度設定」、「オート校正のシリンダー設定」、「オート校正」を行うことができます。

- 1 ユーザーモードメニューで **AIR** ボタンを押して「**GAS CAL**」を選択し、**MODE** ボタンを押す
ガス校正メニューが表示されます。



- 2 **AIR** ボタンを押して設定を選択し、**MODE** ボタンを押す



設定項目	LCD 表示	参照ページ
AIR CAL		「7-2-3. エア校正」(P. 63)
AUTO CAL		「7-2-4. AUTO 校正」(P.64) 「7-2-5. AUTO 校正のシリンダー設定」 (P.66) 7-2-6. AUTO 校正の校正ガス濃度選択」 (P.67)
ESCAPE		

注記

- 設定を終えるときは、**AIR** ボタンを押して「ESCAPE」を選択し、**MODE** ボタンを押してください。ユーザーモードメニューに戻ります。

7-2-3. エア校正



警告

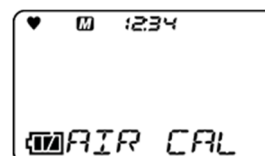
- エア校正を周辺空気で行う場合は、周辺が新鮮な大気であることを確認してから行ってください。雑ガスや干渉ガスなどが存在する状態で行うと、正しいゼロ調整が行えず、実際にガスが漏洩した場合に危険です。



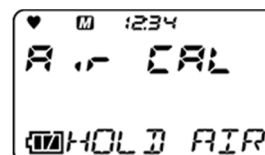
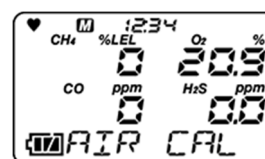
注意

- エア校正は、使用環境に近い状態の圧力、温湿度条件下で、かつ新鮮な大気中で行ってください。
- エア校正は、指示が安定してから行ってください。

- 1 **AIR** ボタンを押して「AIR CAL」を選択し、**MODE** ボタンを押す
エア校正画面が表示されます。

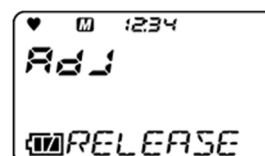


- 2 **AIR** ボタンを押し続ける



- 3 「RELEASE」が表示されたら、指を離す

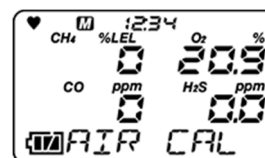
エア校正が実行されます。



エア校正の結果、成功すると「PASS」が表示されます。



エア校正後の現在の濃度が表示され、ガス校正のメニュー画面に戻ります。
校正に失敗した場合には「FAIL」が表示されます。
「END」が表示され、ガス校正のメニュー画面に戻ります。



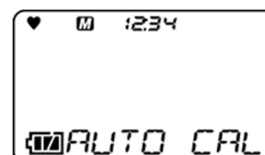
注記

- エア校正に失敗した場合、「AIR CAL」の表示とともに、不良となったセンサの測定値に「FAIL」と表示されます。**MODE** ボタンを押して故障警報(校正不良)を解除してください。不良となったセンサはエア校正を実施せず校正前の値で濃度を算出します。
- エア校正は、測定モードから行うことができます。(P.25)

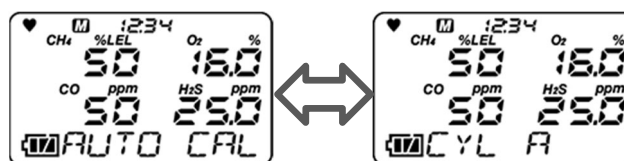
7-2-4. AUTO 校正

各ガスを設定された濃度で校正します。

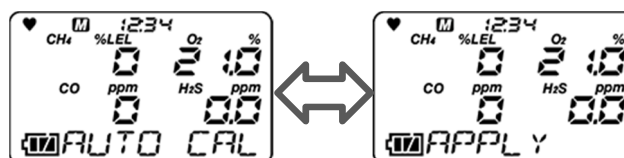
- AIR** ボタンを押して「**AUTO CAL**」を選択し、**MODE** ボタンを押す



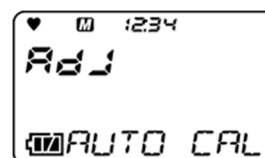
- 校正するシリンダーを選択し、**MODE** ボタンを押す
シリンダーの設定については「7-2-5. AUTO 校正のシリンダー 設定」(P.66)を参照してください。



- 校正ガスを導入し、60 秒後に **MODE** ボタンを押す



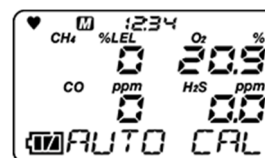
AUTO 校正が実行されます。



AUTO 校正を成功すると、「PASS」が表示されます。
校正に失敗した場合には「FAIL」が表示されます。



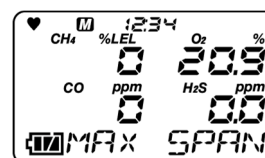
AUTO 校正後の濃度が表示されます。
TIIS 仕様のみ、AUTO 校正成功後、AUTO 校正後の濃度
とセンサ余力値が表示されます。



4 **MODE** ボタンを押す

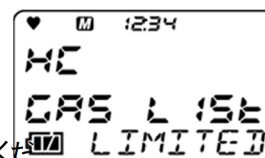
手順 2 の画面に戻ります。

全て FAIL または PASS の場合は **MODE** ボタンを押す必要はありません



警告

- AUTO 校正を行う前に、必ずエア校正を行ってください。
- 可燃性ガスセンサを搭載している仕様の場合、AUTO 校正後に右記画面が表示される場合があります。この画面が表示された場合、可燃性ガスの読替機能にて一部の可燃性ガスに読み替えができなくなります。読み替えができなくなるガス種については、「6-2-2. 可燃性読替ガスの選択」(P.32)を参照してください。右記画面が表示された場合には、お早目に新しい可燃性ガスセンサに交換してください。



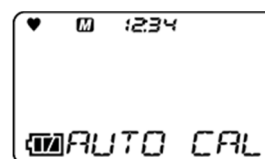
注記

- AUTO 校正を行う前に必ずエア校正を行ってください。

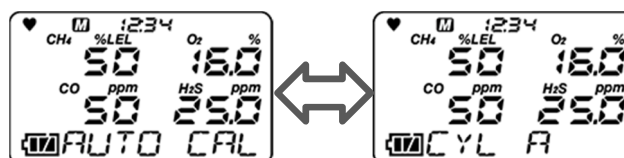
7-2-5. AUTO 校正のシリンダー設定

ここでは、校正するガスのグループ(シリンダー)設定を行います。シリンダーは A～E まで設定できます。

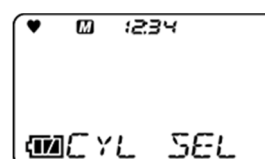
- 1 **AIR** ボタンを押して「**AUTO CAL**」を選択し、
MODE ボタンを押す
AUTO 校正画面が表示されます。



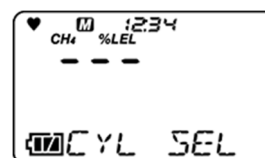
- 2 **AIR** ボタンを押す
AIR ボタンを押すたびにシリンダー A～E のガス種およびガス濃度が表示されます。



- 3 「**CYL SEL**」を選択し、**MODE** ボタンを押す

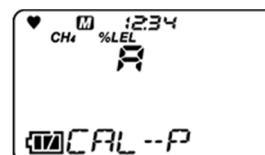


- 4 **AIR** ボタンを押す
AIR ボタンを押すたびに、検知対象ガスが順に表示されます。
さらに **AIR** ボタンを押すと「**ESCAPE**」を表示してから手順 1 の画面に戻ります。



- 5 シリンダー設定を変更するセンサ選択画面で、
MODE ボタンを押す

- 6 **AIR** ボタンを押して、シリンダー A～E を選択し、
MODE ボタンを押す
「**END**」が表示され、AUTO 校正メニューに戻ります。



7-2-6. AUTO 校正の校正ガス濃度選択

ここでは、各種センサの校正ガス濃度選択について、説明しています。
校正ガスの濃度は、設定可能範囲内で、1 デジットの単位で設定できます。

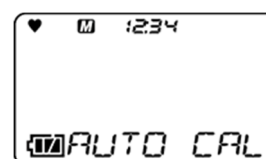
<校正ガス濃度設定可能範囲について>

検知対象ガス	センサ型式	校正ガス	1デジット	設定下限値	設定上限値
可燃性ガス(HC)	NCR-6309	イソブタン (i-C ₄ H ₁₀)	1 %LEL	5 %LEL	75 %LEL
可燃性ガス(CH ₄)	NCR-6309	メタン(CH ₄)	1 %LEL	5 %LEL	75 %LEL
硫化水素(H ₂ S)	ESR-A1DP または ESR-A13i	硫化水素(H ₂ S)	0.1 ppm	1.0 ppm	200.0 ppm
酸素(O ₂)	ESR-X13P	酸素(O ₂)	0.1 vol %	0.0 vol %	18.0 vol %
一酸化炭素(CO)	ESR-A1DP または ESR-A1CP または ESR-A13P	一酸化炭素(CO)	1 ppm	20 ppm	2000 ppm
一酸化炭素(CO)	ESR-A1CP	水素(H ₂)	1 ppm	25 ppm	2000 ppm

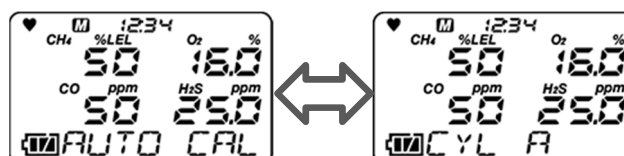
※CO(-H₂)は、CO と H₂ の混合ガスで校正せず、単ガスで校正してください。

※水素は 10℃～30℃が校正温度範囲となります。

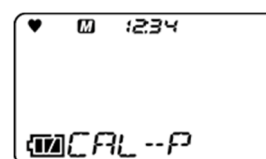
- 1 **AIR** ボタンを押して「**AUTO CAL**」を選択し、
MODE ボタンを押す
AUTO 校正画面が表示されます。



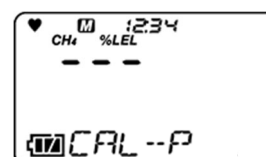
- 2 **AIR** ボタンを押して
「**CAL-P**」を選択する



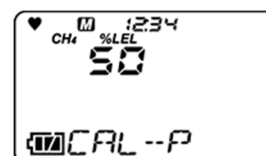
- 3 **MODE** ボタンを押す



- 4 **AIR** ボタンを押して、校正ガスの種類を選択する
AIR ボタンを押すたびに、検知対象ガスが順に表示されます。
さらに **AIR** ボタンを押すと「ESCAPE」を表示してから手順 1 の画面に戻ります。



- 5 校正ガス濃度を変更するセンサ選択画面で、
MODE ボタンを押す
校正濃度変更画面が表示されます。



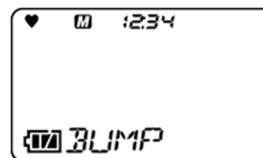
- 6 **AIR** ボタンを押して、校正濃度を選択し、**MODE** ボタンを押す
「END」が表示され、ガス校正メニューに戻ります。

7-3. バンプテスト(BUMP TEST)

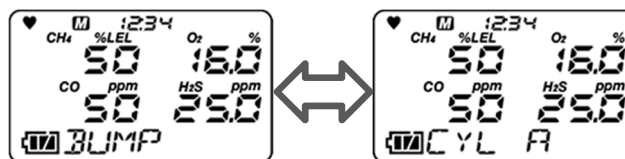
本器はバンプテスト(機能検査)を行う機能を備えています。

シリンダーA～E から選択したガス種について、バンプテストを行うことができます。校正ガスと同様に、バンプテスト用ガスを準備してください(P.60)。

- 1 ユーザーモードメニューで、**AIR** ボタンを押して「**BUMP**」を選択し、**MODE** ボタンを押す
バンプテスト画面が表示されます。

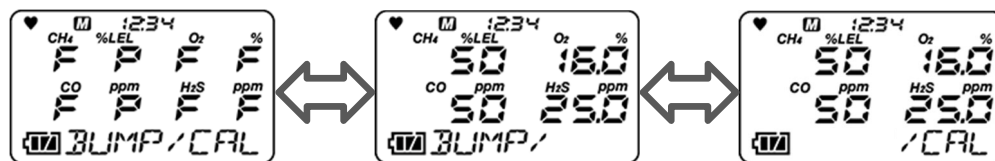


- 2 **AIR** ボタンを押してバンプテストするシリンダーを選択し、**MODE** ボタンを押す
バンプテスト用ガスを導入してください。
バンプテストが実行されます。



バンプテスト失敗後にガス校正を行う設定の場合、
バンプテストに失敗したら自動でガス校正を実施します。

バンプテストおよびガス校正終了後、バンプテスト結果
(左)およびガス校正結果(右)、バンプテスト時の指示
値、ガス校正後の指示値が表示されます。



P: 成功/F: 失敗

(校正した場合のみ表示)

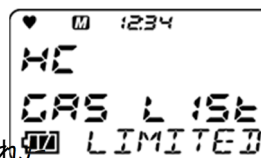
- 3 **MODE** ボタンを押す
「END」が表示されユーザーモードメニューに戻ります。

全てのガスでバンプテスト(ガス校正)が正確に行われ、P
(PASS) 表示であることを確認してから使用してください。



注意

- 可燃性ガスセンサを搭載している仕様にて、バンプテスト失敗後にガス校正を行った場合、校正後に右記画面が表示される場合があります。この画面が表示された場合、可燃性ガスの読替機能にて一部の可燃性ガスに読み替えができなくなります。読み替えができなくなるガス種については、「6-2-2. 可燃性読替ガスの選択」(P.33)を参照してください。右記画面が表示された場合には、お早目に新しい可燃性ガスセンサに交換してください。



7-4. 清掃方法

本器が著しく汚れた場合は清掃を行ってください。清掃する際は、必ず電源を切った状態で、ウエスや水で濡らして固く絞った布などで汚れを拭き取ってください。水拭きや有機溶剤や市販のクリーナーを使用して清掃すると、故障の原因となりますので使用しないでください。



注意

- 本器の汚れを拭き取る際は、水をかけたり、アルコールやベンジンなどの有機溶剤や市販のクリーナーを使用しないでください。本器の表面の変色や損傷およびセンサの故障の原因となります。

注記

- 本器が濡れた後は、ブザー放音口や溝に水が溜まっている場合があります。以下の手順で水抜きを行ってください。
 - ① 本器に付着した水分を乾いたタオル、布などでよく拭き取る
 - ② 本器をしっかり持ち、ブザー放音口を下に向けて 10 回程度振る
 - ③ 内部から出てきた水分をタオル、布などでよく拭き取る
 - ④ 乾いたタオル、布などを下に敷き、常温で放置する

7-5. 各部品の交換

7-5-1. 定期交換部品

本器の消耗品は、下記の通りです。推奨交換周期を目安に消耗品を交換してください。

<推奨交換部品リスト>

名称	推奨点検周期	推奨交換周期	数量 (個/台)	備考
可燃性ガスセンサ (NCR-6309)	6ヶ月	3年	1個	※
O ₂ センサ(ESR-X13P)	6ヶ月	3年	1個	※
CO/H ₂ S センサ (ESR-A1DP)	6ヶ月	3年	1個	※
CO センサ(ESR-A13P)	6ヶ月	3年	1個	※
CO センサ(ESR-A1CP)	6ヶ月	3年	1個	※
H ₂ S センサ(ESR-A13i)	6ヶ月	3年	1個	※
ダストフィルタ	使用前後	6ヶ月または 汚れた場合	1	部品番号:4777 4213 40
干渉ガス除去フィルタ	3ヶ月	6ヶ月	1	可燃性ガスセンサ(NCR-6309)用 部品番号:4777 9212 30
干渉ガス除去フィルタ	3ヶ月	6ヶ月	1	CO/H ₂ S センサ (ESR-A1DP)用 部品番号:4777 9314 10 (ESR-A13i)用 部品番号:4777 9317 30
干渉ガス除去フィルタ	3ヶ月	6ヶ月	1	CO センサ (ESR-A1CP、ESR-A13P)用 部品番号:4777 9213 10
干渉ガス除去フィルタ	3か月	6か月	1	H ₂ S センサ(ESR-A13i)用 部品番号:4777 9214 80
パッキン類	-	3～6年	一式	※
バッテリー	-	充放電約 500 回	1	※

※ 部品交換後に専門のサービス員による動作確認が必要です。機器の安定動作と安全上、専門のサービス員にお任せ願います。販売店または最寄りの弊社営業所にご依頼ください。

注記

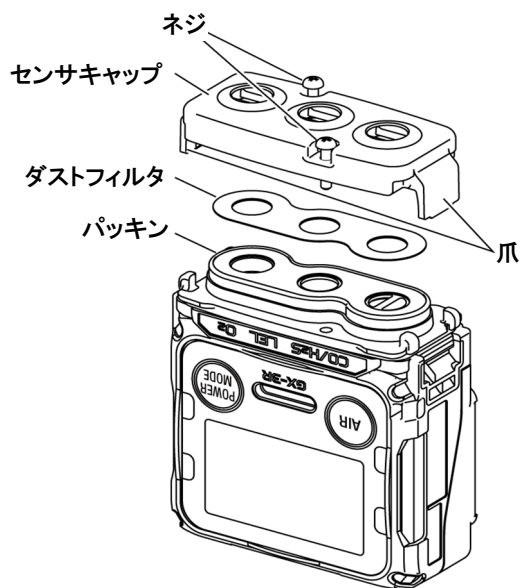
- 上記の交換周期は目安であり、使用条件によって異なる場合があります。また、保証期間を表すものではありません。交換時期は定期点検の結果により変動することがあります。

7-5-2. フィルタの交換

ダストフィルタや各干渉ガス除去フィルタなどは消耗部品です。汚れの具合を見て定期的に交換してください。

＜ダストフィルタの交換方法＞

- 1** 本体底面のネジ(2 か所)を緩め、爪(2 か所)を外す
- 2** センサキャップを外し、装着されているダストフィルタを新しいものと交換する
このとき、パッキン外周の凸部にフィルタがかからないように注意してください。
- 3** センサキャップを取り付け、爪(2 か所)をカチッというまで押す
- 4** ネジを締め付けて固定する



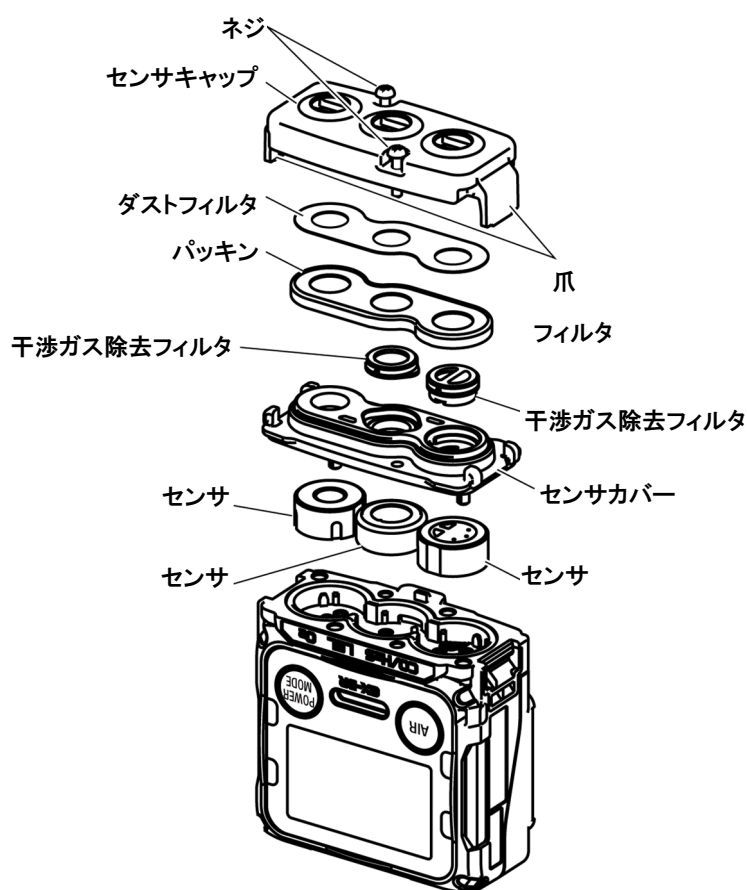


警告

- ダストフィルタは正しく装着してください。ずれて装着すると機能を満たしません。
- フィルタの交換は6ヶ月ごとに行ってください。また、6ヶ月未満であっても、汚れた場合はその都度交換してください。
- ダストフィルタや各干渉ガス除去フィルタなど交換の際は、＜フィルタの交換方法＞の手順どおりに行い、ネジをしっかりと締めつけ、フィルタキャップの爪(2 か所)を確実に装着してください。ネジが緩んでいたり、フィルタキャップの爪が確実に装着されていないと機器内部にゴミが入る原因となります。また、接触面に微細なゴミがわずかでも挟まると機器内部にゴミが入る原因となります。
- ゴムパッキンを傷つけないでください。
- 性能を維持するため、すべての箇所(筒所)のゴムパッキンは異常の有無にかかわらず、3～6 年ごとに交換することをお勧めします。
- ダストフィルタや各干渉ガス除去フィルタなどは、必ず本器(GX-3R)専用品を使用してください。類似品を使用すると、ガス検知性能に悪影響を及ぼしたり、機器内部に水が浸入したりする原因となります。

＜各干渉ガス除去フィルタなどの交換方法＞

- 1 本体底面のネジ(2 か所)を緩め、爪(2 か所)を外す
- 2 センサキャップ、ダストフィルタ、パッキン、干渉ガス除去フィルタの順に外し、干渉ガス除去フィルタを新しいものと交換する
- 3 パッキンを元の位置に置く
- 4 ダストフィルタを載せる。
このとき、パッキン外周の凸部にフィルタがかからないように注意してください。
- 5 センサキャップを取り付け、爪(2 か所)をカチッというまで押す
- 6 ネジを締め付けて固定する





警告

- 各干渉ガス除去フィルタは正しく装着してください。ずれて装着するとガスが漏れ、正しく検知できない場合があります。
- ダストフィルタは正しく装着してください。ずれて装着すると機能を満たしません。
- フィルタの交換は6ヶ月ごとに行ってください。また、6ヶ月未満であっても、汚れた場合はその都度交換してください。
- ダストフィルタや各干渉ガス除去フィルタなど交換の際は、＜干渉ガス除去フィルタの交換方法＞の手順どおりに行い、ネジをしっかりと締めつけ、フィルタキャップの爪(2 か所)を確実に装着してください。ネジが緩んでいたり、フィルタキャップの爪が確実に装着されていないと機器内部にゴミが入る原因となります。また、接触面に微細なゴミがわずかでも挟まると機器内部にゴミが入る原因となります。
- ゴムパッキンを傷つけないでください。
- 性能を維持するため、すべての箇所のゴムパッキンは異常の有無にかかわらず、3～6 年ごとに交換することをお勧めします。
- ダストフィルタや干渉ガス除去フィルタなどは、必ず本器(GX-3R)専用品を使用してください。類似品を使用すると、ガス検知性能に悪影響を及ぼしたり、機器内部に水が浸入したりする原因となります。
- 各干渉ガス除去フィルタには、各センサ専用のフィルタ以外は装着しないでください。正しく検知ができなくなります。

8

保管および廃棄について

8-1. 保管または長期間使用しない場合の処置

本器は下記の環境条件内で保管してください。

- ・常温、常湿、直射日光の当たらない暗所
- ・ガス、溶剤、蒸気などの発生しない場所

本器が収納されている梱包箱がある場合は、それに入れて保管してください。

梱包箱がない場合は、埃やゴミなどを避けて保管してください。

注記

- ・ 長時間使用しない場合は、電池マークが一つになる程度まで放電して保管することをお勧めします。満充電のまま保管すると、電池寿命が短くなるなど、電池の劣化が早まる可能性があります。

8-2. 再度使用する場合の処置

本器を保管後、再度使用する場合は、ガス校正を行ってください。



注意

- ・ ガス校正を含め、再調整は、販売店または最寄りの弊社営業所までご連絡ください。
- ・ 保管場所と使用場所の温度が 15℃以上急変するような場合は、電源を入れた状態で使用場所と同様の環境下で 10 分程度馴染ませ、新鮮な大気中でエア校正を行ってから使用してください。

8-3. 製品の廃棄

本器を廃棄する場合は、産業廃棄物(不燃物)として地域の法令などに従い、適切な処理をしてください。



警告

- 定電位電解式センサには電解液が入っていますので、絶対に分解しないでください。電解液に触れると皮膚がただれる恐れがあり、眼に入ると失明する恐れがあります。また、衣服に付着した場合、変色したり、穴が開いたりする恐れがあります。
万一、電解液に触れた場合は、触れた部分を直ちに水で十分洗浄してください。電池を廃棄する場合は、地域ごとに定められた方法に従って処分してください。

<EU加盟各国内での廃棄について>

EU 加盟各国内で、本器を廃棄する際は電池を分別してください。

リチウムイオン電池ユニットから取り外した電池については、EU 加盟各国内の法令などに従い、各地域の分別収集システムやリサイクル制度に従い、適切な処理をしてください。

注記

クロスドアウトリサイクルダストビンマークについて

- このシンボルマークは、EU 電池指令 2006/66/EC に該当する電池を内蔵している製品に表示されており、電池を適切な方法で廃棄していただく必要があります。このシンボルマークは、電池を廃棄する際に一般ゴミとは分別して処理する必要があることを意味しています。



9

トラブルシューティング

このトラブルシューティングは、全ての不具合の原因を記載したものではありません。よく発生する不具合の原因究明の手助けとなるものを簡単に記載しています。

ここに記載されていない症状や対策を行っても復旧しない場合は、販売店または最寄りの弊社営業所までご連絡ください。

9-1. 機器の異常

症状 ＜画面表示＞	原因	処置
電源が入らない	電池が極端に消耗している	0～+40℃の環境下かつ安全な場所で充電を行ってください。
	POWER ボタンを押す時間が不適切	電源を入れるときは POWER ボタンを押し、ピッと音が鳴ったら指を離してください。
異常な動作をする	突発的な静電気ノイズなどによる影響	一旦電源を切り、再度電源を入れてください。
電池電圧低下警報が表示されている ＜FAIL BATTERY＞	電池残量がなくなっている	電源を切り、0～+40℃の環境下かつ安全な場所で充電を行ってください。
電源投入後、すぐに電源が切れる ＜TURN OFF＞	電池残量がなくなっている	電源を切り、0～+40℃の環境下かつ安全な場所で充電を行ってください。
エア校正ができない ＜FAIL SENSOR＞	本器の周囲に新鮮な大気を供給していない	新鮮な大気を供給してください。
	センサ感度の劣化	販売店または最寄りの弊社営業所までセンサ交換をご依頼ください。
バンプテストができない	供給しているバンプテストガス濃度と設定しているバンプテストガス濃度値が異なる	供給しているバンプテストガス濃度と設定しているバンプテストガス濃度値が合っていることを確認してください。
	センサ感度の劣化	販売店または最寄りの弊社営業所までセンサ交換をご依頼ください。

ガス感度校正ができない ＜FAIL SENSOR＞	供給している校正ガス濃度と設定している校正ガス濃度値が異なる	供給している校正ガス濃度と設定している校正ガス濃度値が合っていることを確認してください。
	乾燥による指示低下 (ESR-A1CP H2 の場合のみ)	湿度が十分に存在する環境で本体を一晩以上放置してから再度ガス校正を行ってください。
	センサ感度の劣化	販売店または最寄りの弊社営業所までセンサ交換をご依頼ください。

症状 ＜画面表示＞	原因	処置
測定モードにてセンサ異常が表示される ＜FAIL SENSOR＞	センサ感度の劣化	販売店または最寄りの弊社営業所までセンサ交換をご依頼ください。 (電源投入時、測定値に「FAIL」と表示された場合は、 [MODE] ボタンを押すことで警報を解除できます。故障していないセンサを除き、その他のガスについては使用できます。)
システム異常 ＜FAIL SYSTEM＞	本体回路に異常がある	販売店または最寄りの弊社営業所まで修理をご依頼ください。
エラー番号 000	内部の ROM の異常	
エラー番号 010	内部の RAM の異常	
エラー番号 021	内部の FRAM の異常	
エラー番号 031	FLASH 異常	
エラー番号 081	基板異常	
エラー番号 082	温度センサ異常	
時計異常 ＜FAIL CLOCK＞	内部の時計異常	日時設定を行ってください。(P.56) 頻繁にこのような症状が起こる場合は、内部時計の故障が考えられますので、交換する必要があります。弊社営業所までご連絡ください。
ユーザーモードに入れない	ユーザーモードのパスワードを忘れてしまった	販売店または最寄りの弊社営業所までご連絡ください。
充電ランプが緑と橙に交互点滅をする	充電可能な温度範囲外である	0～+40℃の環境下で充電を行って下さい。

9-2. 指示値の異常

症状 ＜画面表示＞	原因	処置
指示値が上がった (下がった)まま元に戻らない	センサのドリフト	エア校正を行ってください。
	干渉ガスの存在	干渉ガスによる影響を完全になくすことは困難です。除去フィルタなどの対策については、販売店はたは最寄りの弊社営業所までご連絡ください。
	スローリーク	検知対象ガスが微量に漏れている可能性があります(スローリーク)。放置しておく危険な状態になる可能性がありますので、ガス警報時の対応と同等の対応と処置を施してください。
	環境の変化	エア校正を行ってください。
測定環境に異常がないのにガス警報を発報する	干渉ガスの存在	干渉ガスによる影響を完全になくすことは困難です。干渉ガス除去フィルタなどの対策については、販売店はたは最寄りの弊社営業所までご連絡ください。
	ノイズの影響	一旦電源を切り、再度電源を入れて(再起動)ください。頻繁にこのような症状が起こる場合は、適切なノイズ対策を実施してください。
応答が遅い	ダストフィルタの詰まり	ダストフィルタを交換してください。
	センサ感度の劣化	販売店または最寄りの弊社営業所までセンサ交換をご依頼ください。

10

製品仕様

10-1. 仕様一覧

< 共通仕様 >

濃度表示	LCD デジタル(7セグメント+14 セグメント+アイコン)
検知方式	拡散式
各種表示	時計表示/電池残量表示/動作状態表示
ブザー音量	約 95dB(30cm 平均的な値)
ガス警報表示	ランプ点滅/ブザー連続変調鳴動/ガス濃度表示点滅/振動
ガス警報動作	自己保持
故障警報・自己診断	システム異常、センサ異常、電池電圧低下、校正不良
故障警報表示	ランプ点滅/ブザー断続/内容表示
故障警報動作	自己保持
伝送仕様	IrDA(データログ用)
電源	リチウムイオン電池
連続使用時間	約 40 時間(ロングライフバッテリーモード ON 時、25℃、無警報、無照明時) 約 25 時間(ロングライフバッテリーモード OFF 時、25℃、無警報、無照明時)
使用温度範囲	一時的環境:-40～+60℃(急変なきこと) 連続的環境:-20～+50℃(急変なきこと)
使用湿度範囲	一時的環境:0～95%RH(結露なきこと) 連続的環境:10～90%RH(結露なきこと)
使用圧力範囲	80-120 kPa(防爆適用範囲は 80～110kPa)
構造	防塵防滴構造 IP66/68(2m,1h)相当、落下耐久 7m
防爆構造	TIIS 仕様:本質安全防爆構造 ATEX / IECEx 仕様:本質安全防爆構造 及び 耐圧防爆構造
防爆等級	TIIS Ex ia IIC T4 Ga ATEX II1G Ex da ia IIC T4 Ga / IM1 Ex da ia I Ma(可燃性ガスセンサ有り) II1G Ex ia IIC T4 Ga / IM1 Ex ia I Ma(可燃性ガスセンサ無し) IECEx Ex da ia IIC T4 Ga / Ex da ia I Ma(可燃性ガスセンサ有り) Ex ia IIC T4 Ga / Ex ia I Ma(可燃性ガスセンサ無し)
外形寸法	約 58(W)×65(H)×26(D)mm(突起部を除く)
質量	約 100g

<センサ別仕様>

項目	検知対象ガス	可燃性ガス
		メタン(CH ₄)またはイソブタン(i-C ₄ H ₁₀)
検知範囲		0-100 %LEL
1 デジット		1 %LEL
警報設定値 (TIIS 仕様)		1st 10 %LEL 2nd 50 %LEL 3rd 50 %LEL OVER 100 %LEL
警報設定値 (ATEX / IECEx 仕様)		1st 10 %LEL 2nd 25 %LEL 3rd 50 %LEL OVER 100 %LEL
検知原理		接触燃焼式

項目	検知対象ガス	酸素(O ₂)	一酸化炭素(CO)	硫化水素(H ₂ S)
測定範囲(TIIS 仕様)		0-25.0 %	0-500 ppm	0-30.0 ppm
サービスレンジ(TIIS 仕様)		25.1-40.0 %	501-2000 ppm	30.1-200.0 ppm
測定範囲(ATEX / IECEx 仕様)		0-25.0 %	0-500 ppm	0-100.0 ppm
サービスレンジ (ATEX / IECEx 仕様)		25.1-40.0 %	501-2000 ppm	100.1-200.0 ppm
1 デジット		0.1 %	1 ppm	0.1 ppm
警報設定値 (TIIS 仕様)		L: 18.0 % LL: 18.0 % H: 25.0 % OVER 警報: 40.0 %	1st: 25 ppm 2nd: 50 ppm 3rd: 50 ppm TWA 警報: 25 ppm STEL 警報: 200 ppm OVER 警報: 2000 ppm	1st: 1.0 ppm 2nd: 10.0 ppm 3rd: 10.0 ppm TWA 警報: 1.0 ppm STEL 警報: 5.0 ppm OVER 警報: 200.0 ppm
警報設定値 (ATEX / IECEx 仕様)		L: 19.5 % LL: 18.0 % H: 23.5 % OVER 警報: 40.0 %	1st: 25 ppm 2nd: 50 ppm 3rd: 1200 ppm TWA 警報: 25 ppm STEL 警報: 200 ppm OVER 警報: 2000 ppm	1st: 5.0 ppm 2nd: 30.0 ppm 3rd: 100.0 ppm TWA 警報: 1.0 ppm STEL 警報: 5.0 ppm OVER 警報: 200.0 ppm
検知原理		定電位電解式		

10-2. 付属品一覧

標準付属品 (TIIS 仕様)

部品名称	部品番号
ハンドストラップ	0888 0605 90
ベルトクリップ(取付ねじ付き)	4777 9202 40
プロテクトカバー	4777 4161 10
ACアダプタ	2594 0898 30

標準付属品（ATEX / IECEx 仕様）

部品名称	部品番号
ハンドストラップ	0888 0605 90
超薄型アリゲータークリップ （取付ねじ付き）	4777 9203 10
プロテクトカバー	4777 4161 10
ACアダプタ	2594 0898 30
EU PLUG	2594 0933 60

<オプション(別売品)>

部品名称	部品番号
ベルトクリップ(取付ねじ付き)	4777 9202 40
超薄型アリゲータークリップ （取付ねじ付き）	4777 9203 10
ベルトASSY(取付金具、ねじ付き)	4777 9293 30
フィルタユニットセット	4777 9314 10
フィルタユニットセット	4777 9315 90
フィルタユニットセット	4777 9316 60
フィルタユニットセット	4777 9317 30
ダストフィルタ 10枚セット	4777 9294 10
保護フィルム 5枚セット	4777 9296 50
革ケース	4777 4257 00
耐熱ケース(非防爆)	4777 4259 40
手動吸引キット(採集棒付き)	4777 9302 80
手動吸引キット(浮子付き)	4777 9304 20
手動吸引キット （錘入り30mチューブ付き）	4777 9305 00
AU PLUG	2594 0932 90
EU PLUG	2594 0933 60
UK PLUG	2594 0934 30
ガス校正キャップ(簡易版)	4777 9307 40
ガス供給キャップ(OUT ニップル付き)	4777 9309 90
BC-3R	4777 21
充電クレードル壁掛け具	4777 4337 50
5 股ACアダプタ	4777 9319 80

11

付録

データログ機能

本器には測定結果を記録したり、ガス警報や故障警報、ガス校正などの各種イベントを記録するデータログ機能があります。

注記

- データログ機能にて記録したデータを確認するには、データログマネジメントプログラム(別売)が必要です。詳しくは、弊社営業所までお問い合わせください。

データログの機能は 5 種類あります。

(1) インターバルトレンド

電源を入れてから切るまでの測定濃度の変化を記録します。

可燃性ガス、一酸化炭素、硫化水素については平均値、ピーク値、ピーク発生時間を、酸素については平均値、最小値、最小値発生時間、最大値、最大値発生時間を記録します。

記録数は、最新 3600 件のデータを記録します。

3600 件を超えると、最古のデータを削除して最新のデータを記録していきます。

オーバーライトが OFF の場合、3600 件を超えると記録が停止します。

オーバーライトが ON の場合でも、一回の測定で 3600 件記録すると最古のデータを消去せず、記録が停止します。

※ただし、3600 個以内でも最大記録時間を超えた場合は、最古のデータを削除していきます。

インターバル時間に対しての最大記録時間は次のようになります。

インターバル時間	10 秒	20 秒	30 秒	1 分	3 分	5 分	10 分
最大記録時間	10 時間	20 時間	30 時間	60 時間	180 時間	300 時間	600 時間

※標準のインターバル時間は、「5 分」です。

インターバル時間は、「データログマネジメントプログラム」(別売)で設定できます。

(2) アラームトレンド

警報発報と同時に、発報時間を中心に前後 30 分間(計:1 時間)の測定濃度値の変化を記録します。

アラームトレンドでは、5 秒周期ごとの 5 秒間のピーク値(酸素は最小値)を取得して記録します。

記録数は、最新 8 件分のデータを記録します。

8 件を超えた場合は、最古のデータを削除して最新のデータを記録していきます。

(3) アラームイベント

警報を発報したことを、イベントとして記録します。

記録は、警報発報時間と対象の測定ガスと警報イベントの種類を記録します。

記録数は、最新のイベントから数えて過去最大 100 件分を記録します。

100 件を超えた場合は、最古のデータを削除して最新のデータを記録していきます。

(4) 故障イベント

故障を発報したことを、イベントとして記録します。

記録は、故障発報時間と対象の測定ガスや本体機器情報と故障イベントの種類を記録します。

記録数は、最新のイベントから数えて過去最大 100 件分を記録します。

100 件を超えた場合は、最古のデータを削除して最新のデータを記録していきます。

(5) 校正履歴

校正を実施する際にデータを記録します。

記録は、校正時間と校正前後の濃度値および校正エラーについても記録します。

記録数は、最新の校正履歴から数えて過去 100 回分のデータを保存します。

100 回を超えた場合は、最古のデータを削除して最新のデータを記録していきます。

注記

- 電源投入後、日時表示または電池残量/警報動作表示中に本器の赤外線通信ポートを IrDA 通信可能な位置に置くと、自動で通信モードに移行します。また、**AIR** ボタン、および **POWER** ボタンを押し、本器の赤外線通信ポートを IrDA 通信可能な位置に置くことも通信モードに移行することができます。
 - 通信モードで一定時間以上通信接続が確認されない場合、故障警報を発報します。その場合、再度通信接続を行うか本器の電源を切ってください。
-

100%LEL=ppm 換算表

下表は、100%LEL 値と ppm 値の基準値換算表を示します。

		STANDARD	IEC	ISO
メタン	CH ₄	50000 ppm	44000 ppm	44000 ppm
イソブタン	i-C ₄ H ₁₀	18000 ppm	13000 ppm	15000 ppm
水素	H ₂	40000 ppm	40000 ppm	40000 ppm
メタノール	CH ₃ OH	55000 ppm	60000 ppm	60000 ppm
アセチレン	C ₂ H ₂	15000 ppm	23000 ppm	23000 ppm
エチレン	C ₂ H ₄	27000 ppm	23000 ppm	24000 ppm
エタン	C ₂ H ₆	30000 ppm	24000 ppm	24000 ppm
エタノール	C ₂ H ₅ OH	33000 ppm	31000 ppm	31000 ppm
プロピレン	C ₃ H ₆	20000 ppm	20000 ppm	18000 ppm
アセトン	C ₃ H ₆ O	21500 ppm	25000 ppm	25000 ppm
プロパン	C ₃ H ₈	20000 ppm	17000 ppm	17000 ppm
ブタジエン	C ₄ H ₆	11000 ppm	14000 ppm	14000 ppm
シクロペンタン	C ₅ H ₁₀	14000 ppm	14000 ppm	14000 ppm
ベンゼン	C ₆ H ₆	12000 ppm	12000 ppm	12000 ppm
n-ヘキサン	n-C ₆ H ₁₄	12000 ppm	10000 ppm	10000 ppm
トルエン	C ₇ H ₈	12000 ppm	10000 ppm	10000 ppm
n-ヘプタン	n-C ₇ H ₁₆	11000 ppm	8500 ppm	8000 ppm
キシレン	C ₈ H ₁₀	10000 ppm	10000 ppm	10000 ppm
n-ノナン	n-C ₉ H ₂₀	7000 ppm	7000 ppm	7000 ppm
酢酸エチル	EtAc	21000 ppm	20000 ppm	20000 ppm
イソプロピルアルコール	IPA	20000 ppm	20000 ppm	20000 ppm
メチルエチルケトン	MEK	18000 ppm	15000 ppm	15000 ppm
メタクリル酸メチル	MMA	17000 ppm	17000 ppm	17000 ppm
ジメチルエーテル	DME	30000 ppm	27000 ppm	27000 ppm
メチルイソブチルケトン	MIBK	12000 ppm	12000 ppm	12000 ppm
テトラヒドロフラン	THF	20000 ppm	15000 ppm	15000 ppm

改廃履歴

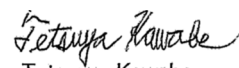
版	修 正	発行日
0	初版	2019/2/1
1	誤記修正	2019/2/27
2	文言追記	2019/3/7
3	文言修正	2019/3/20
4	文言修正、文言追記	2019/4/11
5	文言修正	2019/5/8

Declaration of Conformity

We, **RIKEN KEIKI CO., LTD.**

2-7-6, Azusawa, Itabashi-ku,
Tokyo 174-8744 Japan

declare in our sole responsibility that the following
product conforms to all the relevant provisions.

Product Name	:	Portable Gas Monitor
Model Name	:	GX-3R
Council Directives	:	EMC : 2014/30/EU
		ATEX : 2014/34/EU
		RoHS : 2011/65/EU
Applicable Standards	:	EMC : EN 50270:2015 (Type2) EN 61326-1:2013 IEC 61326-1:2012
		ATEX : EN60079-0:2012+A11:2013 EN60079-1:2014 EN60079-11:2012 EN50303:2000
		RoHS : EN50581(2012)
Name and address of the ATEX Notified Body	:	DEKRA Certification B.V (NB 0344) Meander 1051, 6825 MJ Arnhem P.O.Box 5185, 6802 ED Arnhem The Netherlands
Number of the EU type examination certificate	:	DEKRA 17ATEX0103 X 5 December 2018
Name and address of the ATEX Auditing Organization	:	SGS Baseefa Ltd. (NB 1180) Rockhead Business Park Staden Lane SK17 9RZ BUXTON United Kingdom
The Marking of the equipment or protective system shall include the following :		
		II 1G Ex da ia IIC T4 Ga or Ex ia IIC T4 Ga and I M1 Ex da ia I Ma or Ex ia I Ma
Year to begin affixing CE Marking	:	2018
Place:	TOKYO, Japan	Signature: 
		Full name: Tetsuya Kawabe
Date:	Dec. 12, 2018	Title: Director, Quality control center

Safety information

Overview

The GX-3R can measure up to 4 gases using 3 sensors.

The GX-3R Pro can measure up to 5 gases using 4 sensors.

Both the GX-3R and GX-3R Pro measure the combustible gases (LEL), oxygen (O₂), hydrogen sulfide (H₂S), and carbon monoxide (CO).

The GX-3R Pro can additionally measure toxic gases including carbon and sulfur dioxides (CO₂ and SO₂).

Both models display measurement results on an LCD and issue gas alarms (via LED and buzzer) as needed.

The models also wirelessly transmit measurement results to a host using Bluetooth.

Gas sampling is by diffusion. The models do not have internal suction pumps.

Power sources

The GX-3R draws power from an integrated rechargeable Li-ion battery that is not user-replaceable.

The GX-3R Pro draws power from either a Li-ion battery unit (BUL-3R) or an alkaline battery unit (BUD-3R), both of which have integral components for maintaining intrinsic safety. These battery units are user-replaceable in non-hazardous areas.

The Li-ion battery cell is the same for both the GX-3R and GX-3R Pro.

A dedicated AC adapter is used for recharging the Li-ion battery.

Specification for safety

Ex da ia I Ma , Ex da ia IIC T4 Ga (with combustible gas sensor NCR-6309)

Ex ia I Ma , Ex ia IIC T4 Ga (without combustible gas sensor NCR-6309)



I M1 Ex da ia I Ma , II 1 G Ex da ia IIC T4 Ga (with combustible gas sensor NCR-6309)

I M1 Ex ia I Ma , II 1 G Ex ia IIC T4 Ga (without combustible gas sensor NCR-6309)

- Ambient temperature range for use: -40°C to +60°C
- Ambient temperature range during battery charging: 0°C to +40°C

Electrical data

- Lithium-ion battery: Maxell rechargeable battery model no. ICP463048XS
- Alkaline dry batteries (2 batteries in series): Toshiba LR03 or Duracell MN2400/PC2400
- The battery should be charged with the dedicated AC adapter or by power from a IEC60950-certified SELV power source. The maximum voltage from the charger shall not exceed 6.3Vdc.

Certificate numbers

- IECEx Certificate: IECEx DEK 17.0050 X
- ATEX Certificate: DEKRA 17 ATEX 0103 X

List of standards

- | | |
|-----------------------|---------------------------|
| · IEC 60079-0:2011 | · EN60079-0:2012+A11:2013 |
| · IEC 60079-1:2014-06 | · EN60079-1:2014 |
| · IEC 60079-11:2011 | · EN60079-11:2012 |
| | · EN50303:2000 |

WARNINGS

For all models

- Do not attempt to disassemble or modify the instrument.
- The combustible gas sensor NCR-6309, to measure LEL, is the only part of this Gas Monitor system with flame - proof construction.
- This product is an explosion-proof product and is not to be disassembled or modified with the exception of specified parts.
- NCR-6309 must not be exposed to ultraviolet light.
- This product integrates a sensor having flameproof construction.
If assembly is not performed as specified, explosion protection performance will be compromised.
When replacing the sensor and filter, properly install genuine parts and torque to specification.
- If the enclosure is damaged it shall be repaired before further use.
- The Sensor shall not be exposed to ultraviolet light or used in equipment in which it is not fully enclosed.

Group I Additional Specific Condition

- Do not give strong force or shock to NCR - 6309. There is a danger that the flame - proof performance will be damaged due to breakage etc. This sensor uses flame-proof conditions of "low" possibility of mechanical damage.
- The enclosures shall be protected against exposure to hydraulic liquids, oil or grease.

For GX-3R

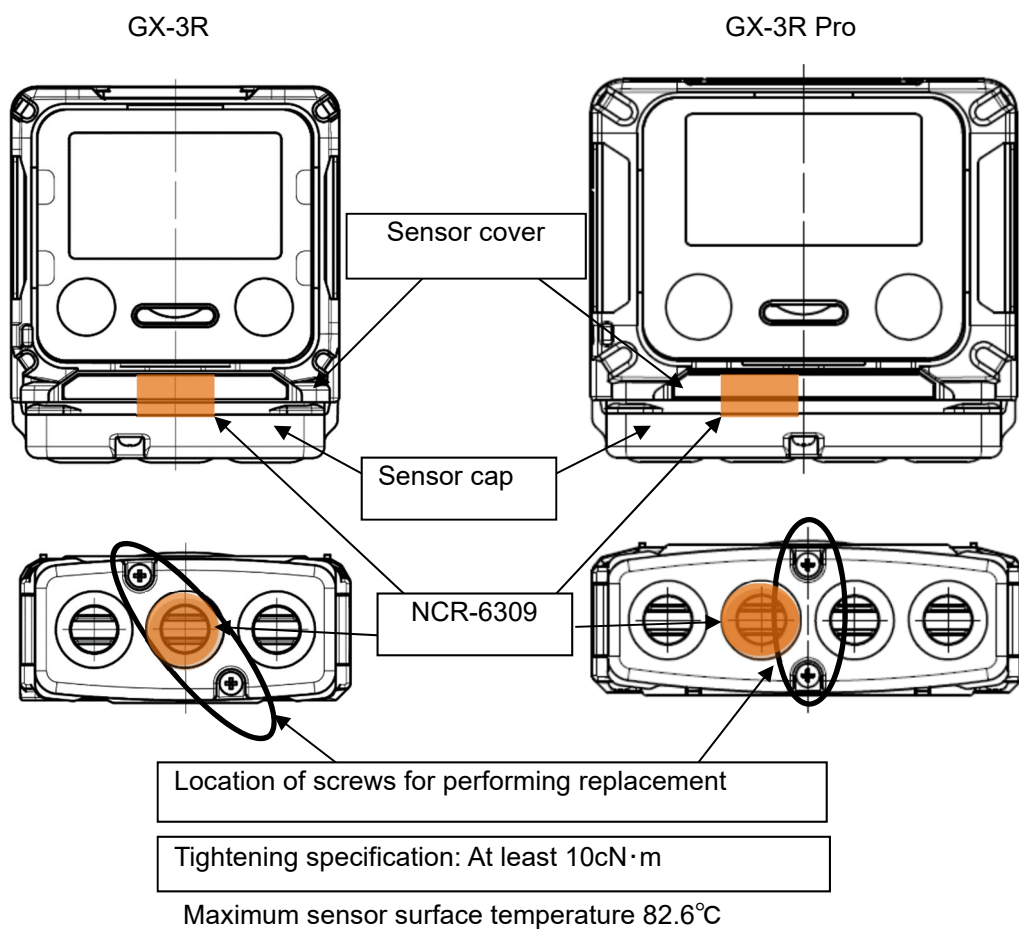
- Do not charge in a hazardous location.
- Do not charge the unit with a non-genuine charger.

For GX-3R Pro with BUL-3R

- Do not charge in a hazardous location.
- Do not charge the unit with a non-genuine charger.
- Do not replace battery unit in a hazardous location.

For GX-3R Pro with BUD-3R

- Do not replace battery unit in a hazardous location.
- Do not replace dry batteries in a hazardous location.
- Use only with connected alkaline AAA battery, type LR03 by TOSHIBA or MN2400/PC2400 by Duracell



Instruments No.

INST. No. 00 0 000 0000 00
 A B C D E

- A: Year of manufacture (0 to 9)
- B: Month of manufacture (1 to 9 for Jan.-Sep.; XYZ for Oct., Nov., Dec.)
- C: Manufacturing lot
- D: Serial number
- E: Factory codes